に移行するためのツール AWS クラウド

AWS 規範ガイダンス

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

AWS 規範ガイダンス: に移行するためのツール AWS クラウド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスはAmazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

序章 1
Discovery tools 2
AppDynamics 3
製品の概要 3
検出機能 4
AveriSource Analyze 8
製品の概要 8
検出機能 9
AWS Application Discovery Service 16
製品の概要 17
検出機能 17
BMC Helix Discovery 21
製品の概要 21
検出機能 23
CAST Highlight 29
製品の概要 29
検出機能 30
CAST Imaging 37
製品の概要 38
検出機能 39
Cloudamize 46
製品の概要 46
検出機能 48
CloudSphere Cyber Asset Management Platform 54
製品の概要 54
検出機能 55
Corent SurPaas MaaS 60
製品の概要 61
検出機能 62
Datadog 66
製品の概要 67
検出機能 68
Device42 74
製品の概要 75

検出機能 76
Dynatrace 82
製品の概要 83
検出機能 84
Flexera 88
製品の概要 89
検出機能 90
Matilda Discover 96
製品の概要 96
検出機能 97
Migration Evaluator 104
製品の概要 104
検出機能 105
modelizeIT 108
製品の概要 109
検出機能 110
New Relic One 117
製品の概要 118
検出機能 119
Tidal Accelerator 123
製品の概要 123
検出機能 125
Turbonomic 132
製品の概要 132
検出機能 133
vFunction 138
製品の概要 138
検出機能 139
Virtana 146
製品の概要 147
検出機能 148
ビジネスケースツール 154
Cloudamize 154
製品の概要 155
ビジネスケース機能 156
CloudHealth 159

製品の概要 160
ビジネスケース機能 161
Corent SurPaas MaaS 164
製品の概要 164
ビジネスケース機能 165
Datadog 168
製品の概要 168
ビジネスケースの機能 170
Flexera 173
製品の概要 173
ビジネスケース機能 175
Migration Evaluator 178
製品の概要 178
ビジネスケース機能 179
Turbonomic 182
製品の概要 182
ビジネスケース機能 184
アプリケーションモビリティツール 187
AWS Application Migration Service 187
製品の概要 187
アプリのモビリティ機能 188
CloudHedge 192
製品の概要 193
アプリのモビリティ機能 194
Deloitte ATAsphere Suite 198
製品の概要 198
アプリのモビリティ機能 199
Matilda Cloud 203
製品の概要 204
アプリのモビリティ機能 205
RiverMeadow 209
製品の概要 210
アプリのモビリティ機能 211
Stromasys Charon 215
製品の概要 215
アプリのモビリティ機能 216

データモビリティツール 221
Cirata Data Migrator 221
製品の概要 221
データ移行 223
データベースの移行 227
Komprise 230
製品の概要 230
データ移行 231
データベースの移行 235
Tessell DBaaS 235
製品の概要 235
データ移行 236
データベースの移行 240
Vcinity Ultimate X 244
製品の概要 244
データ移行 245
データベースの移行 249
ドキュメント履歴 250
..... ccli

に移行するためのツール AWS クラウド

アマゾン ウェブ サービス

急速に進化するデジタル環境では、組織は俊敏性、スケーラビリティ、コスト効率を向上させる AWS クラウド ために にますます目を向けています。この移行を容易にするために、 AWS および AWS パートナーは、クラウド移行ジャーニーのすべてのフェーズを簡素化および高速化するために設計された包括的なツールとサービススイートを提供します。これらの専用ツールは、最初の検出と計画からアプリケーションとデータの実際の移動まで、リスクの最小化、コストの削減、移行中のビジネス継続性の維持に役立ちます。

このガイドでは、クラウド移行の 4 つの重要な側面として、検出と計画、ビジネスケース分析、アプリケーションモビリティ、データモビリティのツールについて説明します。これらのツールを使用して、IT アセットを体系的に検出して評価し、正確な TCO 分析に基づいて魅力的なビジネスケースを構築し、アプリケーションとデータを効率的かつ安全に に移動できます AWS。アプリケーションのリホスト、リファクタリング、モダナイズを計画している場合でも、これらのツールは移行戦略を正常に実行するために必要な自動化とガイダンスを提供します。

- 検出、計画、推奨事項 – アプリケーションポートフォリオ全体の IT アセットを検出し、依存関係と要件を特定します。
- ビジネスケース分析 – 総所有コスト (TCO) 分析を使用して、可能な限り低コスト AWS で でワークロードを実行するためのターゲットリソースタイプとサイズを決定します。
- アプリケーションモビリティ – ホストサーバー、設定、ストレージ、ネットワーク状態、アプリケーション言語、フレームワークに関するリソース情報をキャプチャします。次に、移行とモダナイゼーションのアプローチに基づいて、アプリケーションコードをプロビジョニング、設定、リホスト、リファクタリング、自動的に変換します。
- データモビリティ – 複数のソースからターゲット AWS リソースにデータとデータベースを転送します。

検出、計画、推奨事項の移行ツール

への移行を計画するときは AWS クラウド、 AWS のサービス および AWS パートナーツールを使用して、検出、評価、計画プロセスを加速できます。これらのサービスは、オンプレミスのインフラストラクチャ、アプリケーションの依存関係、および使用率パターンに関する詳細情報を収集するのに役立ちます。 AWS Application Discovery Service Migration Evaluatorは、検出機能を無償で AWS のサービス 提供します。多くの AWS パートナーは、ユースケースの特定のニーズを満たす追加の検出機能を提供するツールを提供しています。

このセクションは、状況に最適なツールを選択するのに役立つことを目的としています。特定の機能や機能がユースケースにとって重要な場合は、検出、計画、推奨事項の移行ツールで使用できるフィルターカテゴリと属性を使用して、条件に一致するツールのみを表示できます。

このセクションでは、以下の検出、計画、レコメンデーションツールとその機能について説明します。

- AppDynamics
- AveriSource Analyze
- AWS Application Discovery Service
- BMC Helix Discovery
- CAST Highlight
- CAST Imaging
- Cloudamize
- CloudSphere Cyber Asset Management Platform
- Corent SurPaas MaaS
- Datadog
- Device42
- Dynatrace
- Flexera Cloud Migration and Modernization
- Matilda Discover
- Migration Evaluator
- modelizeIT
- New Relic One

- Tidal Accelerator
- Turbonomic
- vFunction
- Virtana

AppDynamics

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Cisco AppDynamics
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — アプリケーションのモニタリングとオーケストレーション
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	利用できません
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC)

カテゴリ	製品機能
	• お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	• Federal Risk and Authorization Management Program (FedRAMP) • 一般データ保護規則 (GDPR) • ペイメントカード業界 (PCI)
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します	エージェントベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ソフトウェアプロセス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows • Solaris
検出可能なその他のリソース	追加情報なし
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • ネットワーク使用率データ収集

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出	利用できません
コンテナの詳細検出	• Amazon エラスティックKubernetesサービス (Amazon EKS) • Azure Kubernetes Service • Docker • Google Kubernetes Engine • Kubernetes • Red Hat OpenShift • Rancher
ライセンス検出	利用できません

カテゴリ	製品機能
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	利用できません
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	利用できません

AveriSource Analyze

最終更新日: 2024 年 10 月 22 日

> **注意**
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	AveriSource Analyze
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AveriSource のプラットフォーム AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	508 コンプライアンス
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。	• エージェントベース • ログインベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindowsサーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	利用できません
オペレーティングシステムが検出可能	利用できません
検出可能なその他のリソース	ソースコードによるアプリケーションリソース
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	利用できません
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一アプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	スキーマ
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• ADABAS • IBM Db2 • IBM Information Management System (IMS) • Integrated Database Management System (IDMS) • Virtual Storage Access Method (VSAM) • シーケンシャル

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	利用できません
ファイルシステムの詳細検出	使用可能
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	COBOL、RPG、Assembler、JCL、、BMS、MFS、CL、DDS、PL/I、Natural、Model 204、ObjectStar、Easytrieve、SAS。サポートされている言語の合計数 = 17。
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	IBM WebSphere MQ
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	IBM プラットフォームユーティリティとサードパーティー製品: 合計 100 以上検出可能
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	利用できません

カテゴリ	製品機能
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
コード分析 静的および動的コード分析をサポートし、オプションで以下を識別する機能。 • 廃止されたコード • コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念	• 廃止されたコード • その他: データアクセス、コードフロー、ビジネスルール、変数トレース、依存関係、フローチャート
パイプライン統合 継続的コード分析のために CI/CD パイプラインと統合する機能	利用できません
サービス検出、マッピング 基盤となるサービス、依存関係、通信パターン (SaaS プロバイダーなどの外部リソースを含む) を識別するサービス検出マッピングを自動化する機能	利用できません
サービス検出、レコメンデーション 検出されたサービスの最適化を提案する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
モノリス分解、識別 マイクロサービス候補、特定のクラス、オブジェクト、関数、ストアドプロシージャを識別する機能	使用可能
モノリス分解、影響分析 分解プロセスの影響を分析する機能	使用可能
オープンソースのコンプライアンス分析、識別 アプリケーション内で非準拠のオープンソースソリューションを識別する機能	利用できません
オープンソースのコンプライアンス分析、推奨事項 準拠した代替手段または修復手順を提案する機能	利用できません
フレームワーク移行、標準 Spring Spring Boot や 6 .NET 以上.NET Frameworkなど、フレームワークの移行をサポートする機能	利用できません
フレームワーク移行、レガシー フレームワークの移行中にレガシーフレームワーク、データベース、またはデータ形式を移行する機能	使用可能
環境影響分析 移行の前後など、アプリケーションの持続可能性に関するガイダンスを提供する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
変更分析、労力のコスト アプリケーションのモダナイズに必要な労力を見積もる機能	使用可能
変更コスト分析、アーキテクチャ アプリケーションのモダナイズ後にターゲットアーキテクチャのコストを見積もる機能	利用できません
予測結果分析 変更のリスク、変更の労力、変更が成功する信頼レベルなど、集計された匿名化されたデータに基づいてモダナイゼーションの結果を評価する機能	利用できません
加重分析、設定 パフォーマンス、レジリエンス、コストなどの考慮事項に基づいて、モダナイゼーションに関するレコメンデーションの設定に重みを付ける機能	利用できません
加重分析、組織の優先順位 組織の優先順位の変化に応じて重みをカスタマイズおよび調整する機能	利用できません

AWS Application Discovery Service

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	AWS Application Discovery Service
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	利用できません
サービスモデル	ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	料金は発生しない

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindowsサーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります	• エージェントレス • エージェントベース • ログインベース

カテゴリ	製品機能
• ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ソフトウェアプロセス
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows
検出可能なその他のリソース	追加情報なし
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	アプリケーションとサーバーの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一アプリケーション

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• Microsoft SQL Server • MySQL • Oracle • PostgreSQL
ストレージの詳細検出、システム	ローカルストレージ
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒)
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出	利用できません
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	利用できません

カテゴリ	製品機能
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	利用できません
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

BMC Helix Discovery

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	BMC Helix Discovery
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの BMC Helix
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （ 顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • ログインベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ • メインフレーム
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux – CentOS, Debian GNU/Linux, Fedora Linux, Gentoo Linux, Oracle, Red Hat Enterprise Linux (RHEL), Scientific Linux, SUSE, Ubuntu • Windows – Windows NT2000 Windows Server 年 ~ 2019 年 • HP – HP-UX, OpenVMS, Tru64 UNIX • IBM – IBM AIX, IBMi, Power HMC, VIO

カテゴリ	製品機能
	• VMware – VMware ESX Server, VMware ESXi Server, VMware vCenter • その他 – FreeBSD、Novell NetWare、OpenBSD、Oracle VM Server、 Solaris
検出可能なその他のリソース	• ハイパーコンバージドインフラストラクチャ • ロードバランサー • 管理コントローラー • ソフトウェア定義ネットワーク • ソフトウェア定義ストレージ
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ • ネットワークデバイスとプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • パーティションの数 • クラスター内のクラスター化とサーバー • バックアップ • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ)
ストレージの詳細検出、システム	ストレージエリアネットワーク (SAN)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など) • オブジェクトストレージ (、、HTTP、REST Atmos Vantaraなど)
ストレージの詳細検出、容量	ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	ディスク、配列、LUN、VM 間の関係
ストレージの詳細の検出、使用率	利用できません
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	オブジェクトタイプ (テキストファイル、イメージ、データベースデータなど)

カテゴリ	製品機能
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	• Cisco HyperFlex • Dell Compellent, EMC Isilon, Dell EqualLogic • EMC Celerra/VNX(NAS) および eNAS、EMC Data Domain、EMC RecoverPoint、、EMC Unity、EMC VMAXEMC VNXe 3200EMC VPLEX、、EMC XtremIO • Fujitsu ETERNUS DS • Hitachi HCP, Hitachi HDI, Hitachi HNAS, Hitachi VSP • HPE 3PAR、HP P2000、 HP P6000 (EVA)HP P9000/P9500、、HPE XP7、 HPE XP8 • Huawei Dorado (V3、V6)、 Huawei OceanStor (V3、V5、9000) • IBM DS6000, IBM DS8000, IBM FlashSystem, IBM SVC/Storwize, IBM XIV • NetApp, NetApp E-Series, NetApp SolidFire • その他 – Nimble、Nutanix、Oracle ZFS、Pure FlashArray、 VMware vSAN
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度

カテゴリ	製品機能
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	Apache Tomcat、IBM WebSphere、Microsoft IIS、Oracle GlassFish、、Oracle WebLogic、Oracle Application ServerPostgreSQL、Red Hat JBossSybaseTeradata、、、および約 2,500 のソフトウェアインスタンスタイプ
ソフトウェアの詳細検出、ツール	BMC Remedy、BMC TrueSight、CA Spectrum、Chef、、Dynatrace、FlexeraHP OpenView、IBM TivoliMicrosoft SCCMNew Relic、 など
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン
コンテナの詳細検出	• Amazon エラスティックKubernetesサービス (Amazon EKS) • Azure Kubernetes Service • CRI-O • Docker • Google Kubernetes Engine • Kubernetes • Red Hat OpenShift • Rocket
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

CAST Highlight

最終更新日: 2024 年 10 月 22 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	CAST Highlight
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	CAST Highlight 上の AWS Marketplace

カテゴリ	製品機能
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	SaaS ベース
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • 国際標準化機構 (ISO) 27001、27017、27018、27701
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します	エージェントベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	利用できません
オペレーティングシステムが検出可能	利用できません
検出可能なその他のリソース	CAST Highlight は、アプリケーションのソースコードをスキャンして、クラウドの成熟度、移行とモダナイゼーションのためのクラウドブロッカー (お客様のオンプレミスから AWS他のクラウドから AWS モダナイゼーションのためのクラウドブロッカー) AWS、コンテナ化ブロッカー、3 種類のオープンソースリスク、グリーンソフトウェアインサイトなど、幅広いインサイトを検出します。
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	利用できません
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	利用できません

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	利用できません
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	利用できません

カテゴリ	製品機能
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	C#、、、、、、、、、、C++ClosureCOBOL GoJavaJavaScriptKotlinPHP、、 を含む 50 Python Ruby Scala Swift TypeScript以上の言語 VB.NET。「テクノロジーカバレッジ」を参照してください。
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	アプリケーションで使用されるすべてのライブラリとフレームワーク: 依存関係ファイルで定義されるか、パブリックリポジトリにパブリックソースコードをコピーして貼り付ける
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	依存関係ファイルにリストされている専有コンポーネントまたはプライベートコンポーネントの検出
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
コード分析 静的および動的コード分析をサポートし、オプションで以下を識別する機能。 • 廃止されたコード • コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念	• コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念 • クラウドブロッカーとブースターの識別、ソフトウェアの状態 (回復力、俊敏性、健全性) 、ソフトウェア構成、3 種類のオープンソースリスク、独自のコンポーネントの使用、ソフトウェアグリーンインサイト。5R の処理、移行とモダナイゼーションの波、クラウドまたはコンテナ化のブロック要因の修復と労力の見積もり、クラウドネイティブサービス、オープンソースリスクの修復に関する推奨事項。すべて、業界の同業者とベンチマークされ、時間の経過に伴う傾向があります。
パイプライン統合 継続的コード分析のために CI/CD パイプラインと統合する機能	使用可能
サービス検出、マッピング 基盤となるサービス、依存関係、通信パターン (SaaS プロバイダーなどの外部リソースを含む) を識別するサービス検出マッピングを自動化する機能	使用可能
サービス検出、レコメンデーション 検出されたサービスの最適化を提案する機能	部分的: 特定の詳細レベル (API コールのみなど)

カテゴリ	製品機能
モノリス分解、識別 マイクロサービス候補、特定のクラス、オブジェクト、関数、ストアドプロシージャを識別する機能	利用できません
モノリス分解、影響分析 分解プロセスの影響を分析する機能	利用できません
オープンソースのコンプライアンス分析、識別 アプリケーション内で非準拠のオープンソースソリューションを識別する機能	使用可能
オープンソースのコンプライアンス分析、推奨事項 準拠した代替手段または修復ステップを提案する機能	使用可能
フレームワーク移行、標準 Spring Spring Boot や 6 .NET 以上.NET Frameworkなど、フレームワークの移行をサポートする機能	利用できません
フレームワーク移行、レガシー フレームワークの移行中にレガシーフレームワーク、データベース、またはデータ形式を移行する機能	利用できません
環境影響分析 移行の前後など、アプリケーションの持続可能性に関するガイダンスを提供する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
変更分析、労力のコスト アプリケーションのモダナイズに必要な労力を見積もる機能	使用可能
変更コスト分析、アーキテクチャ アプリケーションのモダナイズ後にターゲットアーキテクチャのコストを見積もる機能	利用できません
予測結果分析 変更のリスク、変更の労力、変更が成功する信頼レベルなど、集計された匿名化されたデータに基づいてモダナイゼーションの結果を評価する機能	使用可能
加重分析、設定 パフォーマンス、レジリエンス、コストなどの考慮事項に基づいて、モダナイゼーションのレコメンデーションの設定に重みを付ける機能	使用可能
加重分析、組織の優先順位 組織の優先順位の変化に応じて重みをカスタマイズおよび調整する機能	使用可能

CAST Imaging

最終更新日: 2024 年 10 月 22 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	CAST Imaging
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの CAST Imaging
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • 国際標準化機構 (ISO) 27001、27017、27018、27701
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。

カテゴリ	製品機能
	• ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	エージェントベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェ	利用できません

カテゴリ	製品機能
アプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	
オペレーティングシステムが検出可能	利用できません
検出可能なその他のリソース	CAST Imaging は、アプリケーションとデータベースのシステムを構成するソースコード、設定ファイル、データベーススクリプト、およびその他のアーティファクトをスキャンして、コンポーネント、依存関係、end-to-endのトランザクションフローとデータグラフ、構造上の欠陥、セキュリティ、信頼性、パフォーマンス効率、保守性を含むアーキテクチャを検出します。 CAST Imaging は、さまざまなモダナイゼーションパスに基づいてレコメンデーションも行います。
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	利用できません
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	アプリケーションとコードの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス — アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	利用できません
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MongoDB • Redis CAST Imaging は 12 以上のデータベースタイプに対応しています。「カバレッジの概要」を参照してください。
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	利用できません
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	CAST Imaging は 50 以上のプログラミング言語に対応しています。「カバレッジの概要」を参照してください。
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	CAST Imaging は数百のフレームワークをカバーしています。「カバレッジの概要」を参照してください。

カテゴリ	製品機能
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	利用できません
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
コード分析 静的および動的コード分析をサポートし、オプションで以下を識別する機能。 • 廃止されたコード • コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念	• 廃止されたコード • コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念 CAST Imaging は、コンポーネント、依存関係、end-to-endのトランザクションフローとデータグラフ、構造上の欠陥、セキュリティ、信頼性、パフォーマンス効率、保守性を含むアプリケーションとデータベースのシステムのアーキテクチャを自動的に検出します。 CAST Imaging は、さまざまなモダナイゼーションパスに基づいてレコメンデーションも行います。

カテゴリ	製品機能
パイプライン統合 継続的コード分析のために CI/CD パイプラインと統合する機能	使用可能
サービス検出、マッピング 基盤となるサービス、依存関係、通信パターン (SaaS プロバイダーなどの外部リソースを含む) を識別するサービス検出マッピングを自動化する機能	使用可能
サービス検出、レコメンデーション 検出されたサービスの最適化を提案する機能	部分的: 特定の詳細レベル (API コールのみなど)
モノリス分解、識別 マイクロサービス候補、特定のクラス、オブジェクト、関数、ストアドプロシージャを識別する機能	使用可能
モノリス分解、影響分析 分解プロセスの影響を分析する機能	使用可能
オープンソースのコンプライアンス分析、識別 アプリケーション内で非準拠のオープンソースソリューションを識別する機能	使用可能
オープンソースのコンプライアンス分析、推奨事項 準拠した代替手段または修復手順を提案する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
フレームワーク移行、標準 Spring Spring Boot や 6 .NET 以上.NET Frameworkなど、フレームワークの移行をサポートする機能	利用可能。互換性と必要な変更をレポートできます
フレームワーク移行、レガシー フレームワークの移行中にレガシーフレームワーク、データベース、またはデータ形式を移行する機能	使用可能
環境影響分析 移行の前後など、アプリケーションの持続可能性に関するガイダンスを提供する機能	使用可能
変更分析のコスト、労力 アプリケーションのモダナイズに必要な労力を見積もる機能	使用可能
変更コスト分析、アーキテクチャ アプリケーションのモダナイズ後にターゲットアーキテクチャのコストを見積もる機能	利用できません
予測結果分析 変更のリスク、変更の労力、変更が成功する信頼レベルなど、集計された匿名化されたデータに基づいてモダナイゼーションの結果を評価する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
加重分析、設定 パフォーマンス、レジリエンス、コストなどの考慮事項に基づいて、モダナイゼーションレコメンデーションの設定に重みを付ける機能	使用可能
加重分析、組織の優先順位 組織の優先順位の変化に応じて重みをカスタマイズおよび調整する機能	使用可能

Cloudamize

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Cloudamize
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	• AWS 移行とモダナイゼーション – ビジネスケース分析 • AWSMicrosoft ワークロードのコンピテンシー

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Cloudamize での評価と計画 AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （ 顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • 国際標準化機構 (ISO) 27001 • System and Organization Controls 2 (SOC 2) Type II
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	• エージェントレス • エージェントベース • ログインベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux – Amazon Linux、CentOS、Debian GNU/Linux、、Fedora LinuxOracle Linux、Red Hat Enterprise Linux (RHEL)SUSE、、 Ubuntu • Windows
検出可能なその他のリソース	• アプリケーション • アプリケーションの相互依存関係 • ファイアウォールルール

カテゴリ	製品機能
	• クライアントアプリ DNS • IP アドレスと DNS • マシンの詳細 • SQL ライセンス検出
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能 : • アプリケーションとサーバーの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス — アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ (ローカル管理者アクセスが利用可能な場合) • データセットのサイズ • パーティションの数 • クラスター内のクラスター化とサーバー • バックアップ • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ) • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis • SQLite
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など)

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	• メディアタイプ (SSD、磁気ディスク、テープなど) • RAID レベル (RAID 0、RAID 1、...、RAID 6)
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒) • 平均ディスクレイテンシー (ミリ秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	• オブジェクトタイプ (テキストファイル、イメージ、データベースデータなど) • オブジェクトサイズ (MB) • オブジェクトの使用: 最終変更時刻 • オブジェクトアクセス許可 • オブジェクトの暗号化ステータス
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	追加情報なし

カテゴリ	製品機能
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	C/C++, Java, .NET, NodeJS, Perl, Python, Ruby
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	Microsoft IIS, JAM, LAMP, MAMP, .NET, Spring Boot
ソフトウェアの詳細検出、ツール	OS が提供するインストールおよびパッケージングシステムメカニズムを使用してインストールされるソフトウェア
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン
コンテナの詳細検出	• Docker • Kubernetes • Mesa
ライセンス検出	• Microsoft – Hyper-V, Microsoft SQL Server, Windows • アプリケーションソフトウェア – はアプリケーション、ベンダー、バージョンを検出しますが、ライセンスはCloudamize検出しません

カテゴリ	製品機能
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

CloudSphere Cyber Asset Management Platform

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	CloudSphere Cyber Asset Management Platform
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーションのコンピテンシー – 移行

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Cyber Asset Management (CAM) Platform の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	での SaaS AWS （ ベンダー VPC)
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • System and Organization Controls 2 (SOC 2) Type II
サービスモデル	ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフト	• エージェントレス – Windows • ログインベース – Linuxまたは Unix

カテゴリ	製品機能
ウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ソフトウェアプロセス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Windows • Linux – Amazon Linux、CentOS、Debian GNU/Linux、、Fedora LinuxOracle Linux、Red Hat Enterprise Linux (RHEL)、SUSE • Solaris • IBM AIX • HP-UX
検出可能なその他のリソース	• アプリケーション • アプリケーションの相互依存関係 • Microsoft SQL Server ライセンス検出 • マシンの詳細 • ソフトウェア関係 • ネットワークの依存関係 • パフォーマンスメトリクス • IP アドレスと DNS • クラスター • サイバーアセットの詳細

カテゴリ	製品機能
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能 : • アプリケーションとサーバーの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一アプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • パーティションの数 • クラスター内のクラスター化とサーバー

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis • SQLite
ストレージの詳細検出、システム	ローカルストレージ
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒)
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	利用できません
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	利用できません

カテゴリ	製品機能
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	OS が提供するインストールおよびパッケージングシステムメカニズムを使用してインストールされるソフトウェア
コンテナの詳細検出	Docker
ライセンス検出	Microsoft – Microsoft SQL Server, Windows Server
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	利用できません
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Corent SurPaas MaaS

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Corent SurPaas MaaS
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの Corent MaaS
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	での SaaS AWS （ ベンダー VPC)
コンプライアンス	国際標準化機構 (ISO) 27001
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • エージェントベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ソフトウェアプロセス
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows • その他 – IBM AIX、HP-X、 Solaris
検出可能なその他のリソース	• 依存関係マッピング • パフォーマンスモニタリング
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディ	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル

カテゴリ	製品機能
スク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一アプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • クラスター内のクラスター化とサーバー • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ)

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MySQL • Oracle • PostgreSQL
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	• メディアタイプ (SSD、磁気ディスク、テープなど) • SAN SCSI 環境の LUN
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	.NET, Java, Perl, PHP, Python, Ruby
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	Apache, Apache Tomcat, ASP.NET, Apache Tomcat, Microsoft IIS, Red Hat JBoss, IBM WebSphere

カテゴリ	製品機能
ソフトウェアの詳細検出、ツール	CRM、ドキュメント管理、ERP、SAP、Microsoft SharePoint
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	• Microsoft – Windows, Microsoft SQL Server • Oracle – Oracle Database
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Datadog

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Datadog
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — アプリケーションのモニタリングとオーケストレーション
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Datadog の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) 準拠のログ管理とセキュリティモニタリング • System and Organization Controls 2 (SOC 2) タイプ I とタイプ II • 国際標準化機構 (ISO) 27001 • Federal Risk and Authorization Management Program (FedRAMP) LI-SaaS ATO • US1-FED サイトの製品に対する FedRAMP の中程度の影響 • 一般データ保護規則 (GDPR) • CCPA 付録
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。

カテゴリ	製品機能
	• ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション (14 日間の無料トライアル)

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • エージェントベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェ	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム

カテゴリ	製品機能
アプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux – Amazon Linux、CentOS、Debian GNU/Linux、、Fedora LinuxRed Hat、SUSE、 Ubuntu • Windows • IBM AIX • その他 – CoreOS、 macOS
検出可能なその他のリソース	追加情報なし
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ • ネットワークデバイスとプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス — アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • パーティションの数 • クラスター内のクラスター化とサーバー • バックアップ • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ) • ストレージレイヤーを介したストレージへのマッピング (の自動ストレージ管理ファイルシステムを介したテーブルスペースのマッピングなどOracle) • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など) • オブジェクトストレージ (、、HTTP、REST Atmos Vantaraなど)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	• メディアタイプ (SSD、磁気ディスク、テープなど) • ディスク、配列、LUN、VM 間の関係
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒) • 平均ディスクレイテンシー (ミリ秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	• オブジェクトタイプ (テキストファイル、イメージ、データベースデータなど) • オブジェクトサイズ (MB) • オブジェクトの使用: 最終変更時刻 • オブジェクトアクセス許可 • オブジェクトの暗号化ステータス

カテゴリ	製品機能
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	追加情報なし
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	C++, Elixir, Go, Java, .NET, NodeJS, PHP, Python, Ruby
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	ASP.NET、Django、Drupal、Elasticsearch、、Flask、Gin、gRPC、MongoDBSpring WebWordPress、 など
ソフトウェアの詳細検出、ツール	Microsoft Azure DevOps、Bitbucket、G itHub、GitLab、、Gremlin、Jira、PagerDuty ServiceNowSentry、、 Zendesk
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン

カテゴリ	製品機能
コンテナの詳細検出	• Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) • Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) • containerd • Docker • Kubernetes • Red Hat OpenShift • Rancher
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	利用できません
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	利用できません

Device42

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Device42
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Device42 の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	Device42 はお客様の環境にデプロイされるため、連邦リスク認可管理プログラム (FedRAMP) や一般データ保護規則 (GDPR) など、これらのコンプライアンス標準の多くは必須ではありません。その結果、 は 標準Device42を満たしています。
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。

カテゴリ	製品機能
	• マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • エージェントベース • ログインベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ • メインフレーム

カテゴリ	製品機能
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows • その他 – FreeBSD、HP-UX、IBM AIX、、IBMiIBM Z、、macOSO penBSDSolaris、、 Unix
検出可能なその他のリソース	、 AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP)および のクラウド検出Oracle。詳細については、 Device42ウェブサイトを参照してください。
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一アプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • クラスター内のクラスター化とサーバー • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis • SQLite
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細の検出、設定	• メディアタイプ (SSD、磁気ディスク、テープなど) • SAN SCSI 環境の LUN • RAID レベル (RAID 0、RAID 1、...、RAID 6) • ディスク、配列、LUN、VM 間の関係
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒) • 平均ディスクレイテンシー (ミリ秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	利用できません

カテゴリ	製品機能
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	• Celerra • Dell Equallogic • EMC ECS, EMC Recover Point, EMC VMAX, EMC VNX, EMC VNXE, EMC XTREME IO • HDS G1000 • Hitachi • HP Lefthand, HPE 3PAR • HPE Nimble • IBM Infinidat • LSI • NetApp • Oracle ZFS • Pure Storage • Tintri • VMware
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど)
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン
コンテナの詳細検出	• Docker • Kubernetes • Linux Containers (LXC)

カテゴリ	製品機能
ライセンス検出	• Microsoft – Hyper-V、Microsoft SQL Server、Microsoft Office、 Windowsなど • Oracle – オペレーティングシステム、Oracle Application Server、その他 • アプリケーションソフトウェア – パッケージマネージャーを介して実行中のすべてのプロセスとインストール済みソフトウェア
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Dynatrace

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Dynatrace
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — アプリケーションのモニタリングとオーケストレーション
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Dynatrace の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • 国際標準化機構 (ISO) 27001 • System and Organization Controls 2 (SOC 2) Type II Dynatrace SaaS インフラストラクチャは でホストされており AWS、System and Organization Controls (SOC) 1-3 / SSAE-16、ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、Payment Card Industry Data Security Standard (PCI DSS) レベル 1、Federal Risk and Authorization

カテゴリ	製品機能
	Management Program (FedRAMP) など、多くの認証要件を満たしています。
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります	• エージェントレス • エージェントベース

カテゴリ	製品機能
• ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ • メインフレーム
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows • その他 – Android、IBM AIX、iOS、Solaris、IBM z/OS
検出可能なその他のリソース	Citrix NetScaler 10.5+、IBM DataPower 4.0+、F5 BIG-IPLTM 11+、 IBM iSeries (AS/400) - プレビュー 7.2+、IBM MQ8.0+、Juniper Networks- プレビュー 12.1+、SAP ABAP プラットフォーム - Windows Server プレビュー 7.31+、2003+
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • ネットワークデバイスとプロファイル

カテゴリ	製品機能
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
ファイルシステムの詳細検出	利用できません

カテゴリ	製品機能
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	Java, .NET, .NET Core, C / C++, Go, NodeJS, PHP, Python, Scala
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	100 を超えるフレームワークをサポート、データベース、ウェブ、ウェブサービス、リモート、JavaScript、.NET、 C++ Java
コンテナの詳細検出	• BOSH bpm • containerd • CRI-O • Docker • Docker Enterprise • Garden-runC • Kubernetes • Red Hat OpenShift • SUSE CaaS • VMware Tanzu Kubernetes Grid
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Flexera Cloud Migration and Modernization

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Flexera
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの Flexera Cloud Migration and Modernization
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	• APP エンティティ • 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)

カテゴリ	製品機能
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	エージェントレス

カテゴリ	製品機能
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux – CentOS (5.x、6.x、7.x)Red Hat Enterprise Linux (RHEL)、SUSE、、 Ubuntu (12.04、14.04、16.04) • Windows • その他 – IBM AIX、Oracle、 Unix
検出可能なその他のリソース	基本機器 (IP 電話、プリンター、FAX マシン) 、データベース、ロードバランサー (NetScaler、F5ネットワーク) 、ネットワーク機器 (スイッチ、ルーター、ファイアウォールなど) 、SUSE Linux Enterprise Server(9、10、11、12)
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ • ネットワークデバイスとプロファイル

カテゴリ	製品機能
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一アプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • ストレージレイヤーを介したストレージへのマッピング (の自動ストレージ管理ファイルシステムを介したテーブルスペースのマッピングなどOracle) • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• Microsoft SQL Server • MySQL • Oracle
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ネットワーク接続ストレージ (NAS)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	認証情報のサポートに基づく
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度

カテゴリ	製品機能
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	C++、Fortran、Java、JavaScript、、PHPPython、SQL、、基本的にプロセスリストで検出されたもの
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	Apache, Apache Tomcat, ASP.NET, BSD, Microsoft IIS, Java, Red Hat JBoss, NGen, Open Toolkit
ソフトウェアの詳細検出、ツール	オンプレミスコンポーネントを持つ任意のツール
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	• Microsoft – Microsoft SQL Server, Windows • Oracle – ベンダーから公開されているすべてのライセンス • アプリケーションソフトウェア – ベンダーから公開されているすべてのライセンス
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Matilda Discover

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Matilda Discover
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	利用できません
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー

カテゴリ	製品機能
コンプライアンス	国際標準化機構 (ISO) 27001
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります	• エージェントレス • エージェントベース • ログインベース

カテゴリ	製品機能
• ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux – Ubuntu 12.04+、Red Hat Enterprise Linux (RHEL)5+、CentOS5+、Oracle Enterprise5+、SUSE11+ • Microsoft – Windows 2003 年以降 • HP – HP-UX 11 以降 • Solaris – Solaris 10 以上 • IBM – IBM AIX 6 以上
検出可能なその他のリソース	• アプリケーション • アプリケーションの相互依存関係 • ファイアウォールルール • クライアントアプリ DNS • IP アドレスと DNS • マシンの詳細 • Microsoft SQL Server ライセンス検出 • ロードバランサー (ハードウェアとソフトウェア) • ストレージデバイス • ネットワークデバイス

カテゴリ	製品機能
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ • ネットワークデバイスとプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能 : • アプリケーションとサーバーの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス — アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • パーティションの数 • クラスター内のクラスター化とサーバー • バックアップ • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ) • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis • SQLite
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など) • オブジェクトストレージ (、、HTTP、REST Atmos Vantaraなど)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	• メディアタイプ (SSD、磁気ディスク、テープなど) • RAID レベル (RAID 0、RAID 1、...、RAID 6)

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒) • 平均ディスクレイテンシー (ミリ秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	• オブジェクトタイプ (テキストファイル、イメージ、データベースデータなど) • オブジェクトサイズ (MB)
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	SNMP が有効になっている場合
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	Java, .NET, Python, Ruby, NodeJS, Angular, React

カテゴリ	製品機能
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	プラットフォームは、Java、、Python、および .NETRubyベースのすべてのアプリケーションフレームワークを識別できます。プラットフォームは、AngularJS、ReactJSフレームワークを検出できます。Spring Boot サービス、Kubernetesプラットフォームで実行されるアプリケーション。Hadoop、SAP、ERP システムなどの他のプラットフォーム。
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン
コンテナの詳細検出	• Docker • Kubernetes
ライセンス検出	• Microsoft – Microsoft SQL Server、Windows オペレーティングシステム、Hyper-V、Microsoft Office、 Microsoft Active Directory • Oracle – Oracle Database、Oracle EBSアプリケーション、 Oracle WebLogic プラットフォームは、ソフトウェア IBM Db2、、InformixSAPSystems、、IBM WebSphere、Oracle WebLogic、Red Hat JBoss、 などMicrosoft IIS、さまざまなアプリケーションソフトウェアのソフトウェアライセンスを抽出できます。 WildFly
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Migration Evaluator

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Migration Evaluator
検出評価のリクエスト 健全な AWS 計画と移行の決定を行うためのビジネスケースを提供する機能	リクエストの送信
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	一般データ保護規則 (GDPR)
サービスモデル	マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	料金は発生しない

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	エージェントレス
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows
検出可能なその他のリソース	仮想化スタック
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネット	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス

カテゴリ	製品機能
ワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	アプリケーションとサーバーの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	によるすべてのリソースとアプリケーション AWS Migration Hub
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • クラスター内のクラスター化とサーバー • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ)
データベースの詳細検出、データベースタイプ	Microsoft SQL Server
ストレージの詳細検出、システム	ローカルストレージ

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出	利用できません
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	Microsoft SQL Server バージョンとエディション
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

modelizeIT

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	modelizeIT
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの modelizeIT
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI)

カテゴリ	製品機能
	• System and Organization Controls (SOC) およびその他の証明書は、配信パートナーを通じて入手できます。
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります	• エージェントレス • エージェントベース • ログインベース

カテゴリ	製品機能
• ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • ソフトウェアプロセス • コンテナ • メインフレーム
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux – Amazon Linux、メインフレーム zLinux • Windows • その他 – FreeBSD、HP-UX、Hyper-V、、IBM AIX、OpenVMS、SCO UNIX、SolarisTru64 UNIX、 VMware
検出可能なその他のリソース	ハイパーバイザー: Windows、、Hyper-VVMware、Kernel-based Virtual Machine (KVM)、、Xen、Oracle仮想化サーバー、LPARs IBM AIX と WPARs、LDOMs Solaris とゾーン、HPVPARs 設定、クラスタリング、VMs。

カテゴリ	製品機能
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ • ネットワークデバイスとプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能 : • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • スキーマ • データセットのサイズ • パーティションの数 • クラスター内のクラスター化とサーバー • バックアップ • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ) • ストレージレイヤーを介したストレージへのマッピング (の自動ストレージ管理ファイルシステムを介したテーブルスペースのマッピングなどOracle) • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
データベースの詳細検出、データベースタイプ	以下を含む 34 エンジン： • MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis • SQLite
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など) • オブジェクトストレージ (、、HTTP、REST Atmos Vantaraなど)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	• メディアタイプ (SSD、磁気ディスク、テープなど) • SAN SCSI 環境の LUN • RAID レベル (RAID 0、RAID 1、...、RAID 6) • ディスク、配列、LUN、VM 間の関係
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	• オブジェクトタイプ (テキストファイル、イメージ、データベースデータなど) • オブジェクトサイズ (MB)
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	EMC Isilon、NetApp、IBM、 からの他のデバイスEMCHPDell。この情報はクライアント側で検出可能です。

カテゴリ	製品機能
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	SAP ABAP, COBOL, Java, JavaScript, Perl, PHP, PowerShell, Python, Shell script, VBS
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	Apache Tomcat、Microsoft IIS、Red Hat JBoss、、IBM WebSphere、 Oracle Containers for J2EE Oracle WebLogicなど
ソフトウェアの詳細検出、ツール	さまざまなソフトウェアベンダー向けに 2,000 を超えるモデル
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン
コンテナの詳細検出	IBM AIX WPARs、 Docker (Red Hat OpenShift や Dockerなどの 上のフレームワークを含むRancher) 、Solarisコンテナ (ゾーンを含む) 、Virtuozzo/OpenVZ。コンテナは、コンテナにデプロイされたアプリケーションおよび関連する相互依存関係にマッピングされます。

カテゴリ	製品機能
ライセンス検出	• Microsoft – Windows、Microsoft SQL Server、 Hyper-V (合計 150 以上のMicrosoft 製品) • Oracle – 150 以上のOracle製品が識別されます。エディションとバージョンはOracle Database、、Oracle WebLogic、およびその他の多くの製品で識別されます。データベースオプション、パック、機能の使用が分析されます。製品は、Oracle CPU パーティショニングルールを考慮して、さまざまな仮想化およびコンテナ化テクノロジーを介して、仮想サーバーと物理サーバーの物理ホスト上の CPU プールにマッピングされます。CPU プールは、対応する Oracle CPU 要因に従って、必要なOracleプロセッサライセンスの数にマッピングされます。 • アプリケーションソフトウェア – IBM Db2、IBM WebSphere、および IBM、、Red HatTIBCO、および 670 以上の他のベンダーのさまざまな製品。
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

New Relic One

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	New Relic
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — アプリケーションのモニタリングとオーケストレーション
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	New Relic でのインフラストラクチャとアプリケーションのモニタリング AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• Federal Risk and Authorization Management Program (FedRAMP) moderate • 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)

カテゴリ	製品機能
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • エージェントベース

カテゴリ	製品機能
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ソフトウェアプロセス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows
検出可能なその他のリソース	追加情報なし
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • データセットのサイズ • クラスター内のクラスター化とサーバー • フェイルオーバー設定 (アクティブ/アクティブ、アクティブ/スタンバイ) • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
ファイルシステムの詳細検出	• ファイルシステムタイプ (ディスク、テープなど) • ファイルシステム設定 (クラスタリング、マウントポイントなど) • ディレクトリの場所または階層、サイズ、使用するサイズ、またはファイルアクセス頻度
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	.NET C#、Go、Java、 ノード、PHP、Python、 Ruby
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	Apache Tomcat、ASP.NET、最新のJavaフレームワーク
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	名前、エディション、バージョン

カテゴリ	製品機能
コンテナの詳細検出	• Docker • Kubernetes • Red Hat OpenShift
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

Tidal Accelerator

最終更新日: 2024 年 10 月 22 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Tidal Accelerator

カテゴリ	製品機能
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	利用できません
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	での SaaS AWS（ベンダー VPC)
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • System and Organization Controls (SOC) • System and Organization Controls 2 (SOC 2) Type II
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • ログインベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ソフトウェアプロセス
オペレーティングシステムが検出可能	• Windows • Linux • Solaris • IBM AIX
検出可能なその他のリソース	利用できません

カテゴリ	製品機能
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • ネットワークデバイスとプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能 : • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	単一アプリケーション
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	データベースエンジン
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• Microsoft SQL Server • MySQL • Oracle • PostgreSQL • Redis • Neo4j
ストレージの詳細検出、システム	ローカルストレージ

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	利用できません
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細の検出、設定	利用できません
ストレージの詳細の検出、使用率	利用できません
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	利用できません
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	Tidal ガイドから: C#、Java、、JavaScript、Python、COBOL、PHP、C++C、、sh /bash。、JSP、Perl、Visual Basic、VB. NET、、 VBScript

カテゴリ	製品機能
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	• C#、、 のすべてのライブラリフレームワーク JavaScript Python • アプリケーションフレームワーク: Apache Tomcat、Oracle WebLogic、 IBM WebSphere
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	利用できません
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	利用できません
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
コード分析 静的および動的コード分析をサポートし、オプションで以下を識別する機能。 • 廃止されたコード • コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念	コードのセキュリティ上の懸念

カテゴリ	製品機能
パイプライン統合 継続的コード分析のために CI/CD パイプラインと統合する機能	使用可能
サービス検出、マッピング 基盤となるサービス、依存関係、通信パターン (SaaS プロバイダーなどの外部リソースを含む) を識別するサービス検出マッピングを自動化する機能	利用できません
サービス検出、レコメンデーション 検出されたサービスの最適化を提案する機能	利用できません
モノリス分解、識別 マイクロサービス候補、特定のクラス、オブジェクト、関数、ストアドプロシージャを識別する機能	利用できません
モノリス分解、影響分析 分解プロセスの影響を分析する機能	使用可能
オープンソースのコンプライアンス分析、識別 アプリケーション内で非準拠のオープンソースソリューションを識別する機能	利用できません
オープンソースのコンプライアンス分析、推奨事項 準拠した代替手段または修復手順を提案する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
フレームワーク移行、標準 Spring Spring Boot や 6 .NET 以上.NET Frameworkなど、フレームワークの移行をサポートする機能	利用できません
フレームワーク移行、レガシー フレームワークの移行中にレガシーフレームワーク、データベース、またはデータ形式を移行する機能	利用できません
環境影響分析 移行の前後など、アプリケーションの持続可能性に関するガイダンスを提供する機能	使用可能
変更分析、労力のコスト アプリケーションのモダナイズに必要な労力を見積もる機能	利用できません
変更コスト分析、アーキテクチャ アプリケーションのモダナイズ後にターゲットアーキテクチャのコストを見積もる機能	利用できません
予測結果分析 変更のリスク、変更の労力、変更が成功する信頼レベルなど、集計された匿名化されたデータに基づいてモダナイゼーションの結果を評価する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
加重分析、設定 パフォーマンス、レジリエンス、コストなどの考慮事項に基づいて、モダナイゼーションに関するレコメンデーションの設定に重みを付ける機能	使用可能
加重分析、組織の優先順位 組織の優先順位の変化に応じて重みをカスタマイズおよび調整する機能	使用可能

Turbonomic

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	IBM Turbonomic
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	• AWS クラウド管理ツールのコンピテンシー • AWSMicrosoft ワークロードのコンピテンシー • AWS クラウド移行のコンピテンシー

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Turbonomic の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	利用できません
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。	• エージェントレス • ログインベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ソフトウェアプロセス • コンテナ • メインフレーム
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows • IBM AIX
検出可能なその他のリソース	ベアメタル、ビジネスアプリケーション (APMs 経由) 、コンテナとポッド、ハイパーコンバージドシステム、その他のクラウドリソース

カテゴリ	製品機能
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能 : • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	利用できません

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	すべてのリソースとアプリケーション
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • データベースエディション • ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)
ストレージの詳細の検出、設定	ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など)

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	ディスク、配列、LUN、VM 間の関係
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒) • 平均ディスクレイテンシー (ミリ秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	• EMC ScaleIO, EMC VMAX, EMC VPLEX, EMC XtremIO • HPE 3PAR • NetApp • Pure Storage
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出	利用できません
コンテナの詳細検出	• Kubernetes • Red Hat OpenShift

カテゴリ	製品機能
ライセンス検出	Microsoft – Windows、Microsoft SQL Server、Hyper-V (SSVMM のスタンドアロン)
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

vFunction

最終更新日: 2024 年 10 月 22 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	vFunction
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	vFunction の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	利用できません
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。	エージェントベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	ソフトウェアプロセス
オペレーティングシステムが検出可能	• Windows • Linux
検出可能なその他のリソース	カスタムソフトウェアアプリケーション、ビジネスロジック
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	利用できません
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	アプリケーションとコードの依存関係

カテゴリ	製品機能
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	単一のアプリケーションとそのプログラミングコード
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	ランタイムメトリクス (サーバーメモリ使用量、クライアント接続、トランザクション、バッチリクエストなど)
ストレージの詳細検出 システム、タイプ、容量、設定、使用率、オブジェクトメタデータなどのストレージの詳細を検出する機能	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	利用できません

カテゴリ	製品機能
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出、プログラミング言語	Java, .NET, Python, Ruby, Go, NodeJS, C++, PHP++
ソフトウェアの詳細検出、フレームワーク、またはライブラリ	J2EE、Spring、Spring Boot、、QuarkusHibernate、ASP.NET、C#.NET、 VB.NETなど
ソフトウェア詳細検出、ISV 製品 Splunk Enterprise や などの独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 製品を検出する機能 F5 BIG-IP Virtual Edition	利用できません
コンテナの詳細検出	利用できません
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
コード分析 静的および動的コード分析をサポートし、オプションで以下を識別する機能。 • 廃止されたコード • コードのセキュリティ上の懸念 • コードの耐障害性に関する懸念	• 廃止されたコード • コードの耐障害性に関する懸念 • スケーラビリティ、エンジニアリング速度、技術的負債
パイプライン統合 継続的コード分析のために CI/CD パイプラインと統合する機能	使用可能
サービス検出、マッピング 基盤となるサービス、依存関係、通信パターン (SaaS プロバイダーなどの外部リソースを含む) を識別するサービス検出マッピングを自動化する機能	使用可能
サービス検出、レコメンデーション 検出されたサービスの最適化を提案する機能	使用可能
モノリス分解、識別 マイクロサービス候補、特定のクラス、オブジェクト、関数、ストアドプロシージャを識別する機能	使用可能
モノリス分解、影響分析 分解プロセスの影響を分析する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
オープンソースのコンプライアンス分析、識別 アプリケーション内で非準拠のオープンソースソリューションを識別する機能	使用可能
オープンソースのコンプライアンス分析、推奨事項 準拠した代替手段または修復手順を提案する機能	使用可能
フレームワーク移行、標準 Spring Spring Boot や 6 .NET 以上.NET Frameworkなど、フレームワークの移行をサポートする機能	利用可能。互換性と必要な変更を報告し、新しいコードを提案できます
フレームワーク移行、レガシー フレームワークの移行中にレガシーフレームワーク、データベース、またはデータ形式を移行する機能	使用可能
環境影響分析 移行の前後など、アプリケーションの持続可能性に関するガイダンスを提供する機能	利用できません
変更分析のコスト、労力 アプリケーションのモダナイズに必要な労力を見積もる機能	使用可能
変更コスト分析、アーキテクチャ アプリケーションのモダナイズ後にターゲットアーキテクチャのコストを見積もる機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
予測結果分析 変更のリスク、変更の労力、変更が成功する信頼レベルなど、集計された匿名化されたデータに基づいてモダナイゼーションの結果を評価する機能	使用可能
加重分析、設定 パフォーマンス、レジリエンス、コストなどの考慮事項に基づいて、モダナイゼーションレコメンデーションの設定に重みを付ける機能	使用可能
加重分析、組織の優先順位 組織の優先順位の変化に応じて重みをカスタマイズおよび調整する機能	使用可能

Virtana

最終更新日: 2024 年 2 月 16 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Virtana
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Virtana の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

検出、計画、レコメンデーション機能

カテゴリ	製品機能
検出方法 次の 1 つ以上の検出方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	• エージェントレス • ログインベース
検出可能なリソース サーバー、データベース、ストレージシステム、ネットワークデバイス、ソフトウェアプロセス、コンテナ、メインフレームを検出する機能	• サーバーとオペレーティングシステム • データベース • ストレージシステム • ネットワークデバイス • コンテナ
オペレーティングシステムが検出可能	• Linux • Windows • Solaris
検出可能なその他のリソース	KVM、、Hyper-VAppDynamics、Dynatrace、ServiceNow、NetFlow、、Cisco UCS、IBM PowerVMKubernetes、Brocade SAN Switch、Cisco SAN Switch、、、Dell PowerFlexPowerMax、VPLEXPowe

カテゴリ	製品機能
	rStore、、、XtremIO、 Hitachi VSP NetApp Storage Pure Cisco Nexus
リソースプロファイルの検出 CPU ファミリー (x86 や RISC/PowerPC など) 、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅を検出する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーとそのプロファイル • アタッチされたストレージとプロファイル – サーバーまたは仮想マシン (VM) に直接接続されたデータストレージデバイス • デタッチされたストレージとプロファイル – ネットワーク接続ストレージ (NAS) やストレージエリアネットワーク (SAN) などのネットワーク経由でアクセスされるデータストレージ • ネットワークデバイスとプロファイル
リソース使用率データ収集 ピーク、平均、中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間 1 か月などの時系列使用率データを収集する機能	• 物理サーバーと仮想サーバーの使用率のデータ収集 • アタッチされたストレージ使用率データ収集 • デタッチされたストレージ使用率データ収集 • ネットワーク使用率データ収集

カテゴリ	製品機能
アプリケーションの依存関係レベル アプリケーションの依存関係を検出し、依存関係データをエクスポートする機能： • アプリケーションとサーバーの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のサーバーと依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 – アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセス、設定、依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係 — アプリケーションを形成する個々のプログラミングコード、設定、依存関係	• アプリケーションとサーバーの依存関係 • アプリケーションとソフトウェアのプロセスの依存関係 • アプリケーションとコードの依存関係
視覚化レベル アプリケーションを複数レベルで可視化する機能： • すべてのリソースとアプリケーション – すべてのリソースとアプリケーションを含むオンプレミス環境またはソース環境全体 • 単一のアプリケーション – リソース全体で 1 つのアプリケーションをエンドツーエンドで • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス — アプリケーションを形成する個々のソフトウェアプロセスと依存関係 • 単一のアプリケーションとそのプログラミングコード – アプリケーションを形成する個々のプログラミングコードと依存関係	• すべてのリソースとアプリケーション • 単一のアプリケーション • 単一のアプリケーションとそのソフトウェアプロセス

カテゴリ	製品機能
データベースの詳細検出、ソースデータベースシステム	• データベースエンジン • クラスター内のクラスター化とサーバー
データベースの詳細検出、データベースタイプ	• MariaDB • Microsoft SQL Server • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL
ストレージの詳細検出、システム	• ローカルストレージ • ストレージエリアネットワーク (SAN) • ネットワーク接続ストレージ (NAS)
ストレージの詳細の検出、設定	• ファイルストレージ (NFS や SMB など) • ブロックストレージ (ファイバーチャネルや iSCSI など) • オブジェクトストレージ (、、HTTP、REST Atmos Vantaraなど)
ストレージの詳細検出、容量	• ボリューム識別子とボリュームサイズ (GB) • ストレージプールの名前とサイズ (GB) • ストレージ raw 合計サイズ、raw 使用可能サイズ (GB) • 使用済み容量 (GB)
ストレージの詳細検出、タイプ ストレージシステムタイプとアクセスプロトコルを検出する機能	• SAN SCSI 環境の LUN • RAID レベル (RAID 0、RAID 1、...、RAID 6) • ディスク、配列、LUN、VM 間の関係

カテゴリ	製品機能
ストレージの詳細の検出、使用率	• 平均 (平均) IOPS • ピーク IOPS • 平均 (平均) スループット (MB/秒) • ピークスループット (MB/秒) • 平均ディスクレイテンシー (ミリ秒) • ピークディスクレイテンシー (ミリ秒)
ストレージの詳細検出、オブジェクトメタデータ	利用できません
検出可能なストレージシステム 、、、HPE 3PAR、 EMC Isilon EMC VMAX Hitachi Vantaraなどのストレージシステムを検出する機能 Pure Storage	Dell PowerFlex, Hitachi VSP, HPE, IBM SVC, Infinidat, NetApp Storage, PowerMax, PowerProtect, PowerStore, Pure, Unity, VPLEX, XtremIO
ファイルシステムの詳細検出	利用できません
ソフトウェアの詳細検出	利用できません
コンテナの詳細検出	• AWS • Kubernetes • Microsoft Azure • Red Hat OpenShift
ライセンス検出	利用できません
データ主権のサポート 検出されたデータを特定の地理的リージョン内に保持する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
データエクスポート機能 検出されたデータを CSV や JSON などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能

ビジネスケース分析移行ツール

クラウド移行を成功させるには、総所有コスト (TCO) を理解して最適化することが重要です。 AWS および AWS パートナーは、十分な情報に基づいた財務上の意思決定に役立つツールを提供します。これらのツールは、オンプレミス環境と比較して、クラウドコストとコスト削減の可能性を正確に見積もるのに役立ちます。詳細なコストモデリング、適切なサイズ設定の推奨事項、最適化シナリオなど、高度な TCO 分析機能を提供できます。これらのツールは、コンピューティング、ストレージ、ネットワークリソース全体の現在のインフラストラクチャコスト、予測コスト、潜在的なコスト最適化の機会に関する詳細なインサイトを提供することで、移行のための強力なビジネスケースを構築するのに役立ちます。このデータ主導型の TCO 分析アプローチは、財務的に健全でビジネス目標に沿った移行の決定に役立ちます。

このセクションは、状況に最適なツールを選択するのに役立つことを目的としています。特定の機能や機能がユースケースにとって重要な場合は、ビジネスケース分析移行ツールで使用できるフィルターカテゴリと属性を使用して、条件に一致するツールのみを表示できます。

このセクションでは、以下のビジネスケース分析ツールとその機能について説明します。

- Cloudamize
- CloudHealth による VMware
- Corent SurPaas MaaS
- Datadog
- Flexera Cloud Migration and Modernization
- Migration Evaluator
- Turbonomic

Cloudamize

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Cloudamize
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	• AWS 移行とモダナイゼーション – ビジネスケース分析 • AWSMicrosoft ワークロードのコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Cloudamize 上の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （ 顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • 国際標準化機構 (ISO) 27001 • System and Organization Controls 2 (SOC 2) Type II
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。

カテゴリ	製品機能
	• マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	API を介したプログラムによる
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ • 世代あたりの CPU 速度 (GHz) • アプリケーションまたはユーザープロセスの CPU 使用率 • プロセッサベンチマークに対する合成ワークロードテスト • 対称マルチプロセッシング (SMP) アプリケーション用の Intel x86 ハイパースレッディングテクノロジー
適切なサイズ設定、Amazon EC2 メーカー	• インテルベースの EC2 インスタンス

カテゴリ	製品機能
	• AMD ベースの EC2 インスタンス • Arm ベースの EC2 インスタンス
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	はい
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、VMware Cloudワークロード設定をモデル化 AWS して VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	はい
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	• 専用ホスト • Dedicated Instances
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	はい

カテゴリ	製品機能
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択するか、使用率のしきい値を微調整する機能 (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択するなど) は、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映します。	はい
ライセンス分析 既存のライセンスと からライセンスを購入するコストの比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	• BYOL オプションやライセンス込みオプションなど、EC2 AWS ライセンスオプションを提供する • ライセンス可能な CPU コア数を減らしてサーバーライセンスコストを最適化する • サーバーライセンスエディションを最適化する (Enterprise Microsoft SQL Server から Microsoft SQL Server Standard へのダウングレードオプションを推奨) • Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) Microsoft SQL ServerやAmazon Aurora PostgreSQL 互換エディションなどOracle、リプラットフォームのコストを分析する • データベース統合コストを分析する
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	利用できません

カテゴリ	製品機能
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• EC2 とリザーブドインスタンスのコスト • ストレージコスト • データベースコスト • ネットワークコスト • VMware Cloud on の AWS コスト • ライセンスコスト
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	利用できません
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	はい

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] Amazon EC2 の特性

CloudHealth による VMware

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	VMware Tanzu CloudHealth
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	• AWS 移行とモダナイゼーション – ビジネスケース分析 • AWS クラウド管理ツールのコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	VMware Tanzu CloudHealth 上の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	での SaaS AWS （ ベンダー VPC)
コンプライアンス	System and Organization Controls 2 (SOC 2) Type II
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です

カテゴリ	製品機能
料金モデル	サブスクリプション

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	API を介したプログラムによる
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	はい
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、VMware Cloudワークロード設定をモデル化 AWS して VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	いいえ

カテゴリ	製品機能
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	• 専用ホスト • Dedicated Instances
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	いいえ
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択するか、使用率のしきい値を微調整する機能 (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択するなど) は、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映します。	はい
ライセンス分析 既存のライセンスと からライセンスを購入するコストの比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	利用できません

カテゴリ	製品機能
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• サーバーとストレージのコスト • ソフトウェア、ライセンス、サポートのコスト • 施設とメンテナンスのコスト (ラック、インフラストラクチャ、電力、不動産) • のコスト
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• EC2 とリザーブドインスタンスのコスト • ストレージコスト • データベースコスト • ネットワークコスト • ライセンスコスト
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	• トレーニングコスト • ツールのコスト • 労働コスト (顧客、パートナー、 AWS リソース) • AWS のサービス コスト
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	いいえ

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] つの Amazon EC2 の特性

Corent SurPaas MaaS

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Corent SurPaas MaaS
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの Corent MaaS
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	での SaaS AWS （ ベンダー VPC)
コンプライアンス	国際標準化機構 (ISO) 27001

カテゴリ	製品機能
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	API を介したプログラムによる
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ

カテゴリ	製品機能
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	はい
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、VMware Cloudワークロード設定をモデル化 AWS して VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	いいえ
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	利用できません
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	はい

カテゴリ	製品機能
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択するか、使用率のしきい値を微調整する機能 (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択するなど) は、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映します。	はい
ライセンス分析 既存のライセンスと からライセンスを購入するコストの比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	• Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) Microsoft SQL ServerやAmazon Aurora PostgreSQL 互換エディションなどOracle、リプラットフォームのコストを分析する • データベース統合コストを分析する
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	利用できません
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• EC2 とリザーブドインスタンスのコスト • ストレージコスト • データベースコスト • ネットワークコスト
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	• トレーニングコスト • ツールのコスト • 労働コスト (顧客、パートナー、 AWS リソース)

カテゴリ	製品機能
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	AWS パートナーと顧客のニーズ AWS リージョン に基づいて複数の で実行される SaaS デプロイ

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] Amazon EC2 の特性

Datadog

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Datadog

カテゴリ	製品機能
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — アプリケーションのモニタリングとオーケストレーション
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Datadog 上の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• CCPA 付録 • Federal Risk and Authorization Management Program (FedRAMP) LI-SaaS ATO • US1-FED サイトの製品に対する FedRAMP の中程度の影響 • 一般データ保護規則 (GDPR) • 医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) 準拠のログ管理とセキュリティモニタリング • 国際標準化機構 (ISO) 27001 • System and Organization Controls 2 (SOC 2) タイプ I とタイプ II

カテゴリ	製品機能
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	API を介したプログラムによる
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ • 世代あたりの CPU 速度 (GHz) • アプリケーションまたはユーザープロセスの CPU 使用率

カテゴリ	製品機能
	• プロセッサベンチマークに対する合成ワークロードテスト • 対称マルチプロセッシング (SMP) アプリケーション用の Intel x86 ハイパースレッディングテクノロジー
適切なサイズ設定、Amazon EC2 メーカー	• インテルベースの EC2 インスタンス • AMD ベースの EC2 インスタンス • Arm ベースの EC2 インスタンス
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	はい
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、VMware Cloudワークロード設定をモデル化AWS して VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	いいえ
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	• 専用ホスト • Dedicated Instances

カテゴリ	製品機能
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	はい
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択するか、使用率のしきい値を微調整する機能 (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択するなど) は、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映します。	はい
ライセンス分析 既存のライセンスと からライセンスを購入するコストの比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	利用できません
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	利用できません
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	利用できません
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	利用できません

カテゴリ	製品機能
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	はい

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] つの Amazon EC2 の特性

Flexera Cloud Migration and Modernization

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Flexera クラウド移行

カテゴリ	製品機能
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	AWS 移行とモダナイゼーション — 検出、計画、推奨事項
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの Flexera Cloud Migration and Modernization
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	• アプリエンティティ • 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	手動
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ • アプリケーションまたはユーザープロセスの CPU 使用率
適切なサイズ設定、Amazon EC2 製造元	インテルベースの EC2 インスタンス
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	いいえ
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、V Mware Cloudワークロード設定をモデル化 AWS して VMware VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	はい

カテゴリ	製品機能
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	Dedicated Instances
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	はい
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択したり、使用率のしきい値を微調整したり (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択など) 、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映する機能	はい

カテゴリ	製品機能
ライセンス分析 既存のライセンスを持ち込むか、 からライセンスを購入するかのコスト比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	• BYOL オプションやライセンス込みオプションなど、EC2 AWS ライセンスオプションを提供する • ライセンス可能な CPU コア数を減らしてサーバーライセンスコストを最適化する • サーバーライセンスエディションの最適化 (Microsoft SQL ServerEnterprise から Microsoft SQL Server Standard へのダウングレードオプションの推奨など) • Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) Microsoft SQL Serverや Amazon Aurora PostgreSQL 互換エディションなどOracle、リプラットフォームのコストを分析する • データベース統合コストを分析する
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年にわたるコスト見積もり	• サーバーとストレージのコスト • ソフトウェア、ライセンス、サポートのコスト • 施設とメンテナンスのコスト (ラック、インフラストラクチャ、電力、不動産)
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年にわたるコスト見積もり	• EC2 とリザーブドインスタンスのコスト • ストレージコスト • ネットワークコスト • VMware Cloud on の AWS コスト • ライセンスコスト

カテゴリ	製品機能
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	• トレーニングコスト • ツールのコスト • 労働コスト (顧客、パートナー、 AWS リソース) • AWS のサービス コスト
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	はい

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] Amazon EC2 の特性

Migration Evaluator

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Migration Evaluator

カテゴリ	製品機能
TCO 評価のリクエスト 健全な AWS 計画と移行の決定を行うためのビジネスケースを提供する機能	リクエストの送信
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	での SaaS AWS （ ベンダー VPC)
コンプライアンス	一般データ保護規則 (GDPR)
サービスモデル	マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	料金は発生しない

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	手動
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ

カテゴリ	製品機能
コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• 世代あたりの CPU 速度 (GHz) • プロセッサベンチマークに対する合成ワークロードテスト
適切なサイズ設定、Amazon EC2 メーカー	• インテルベースの EC2 インスタンス • AMD ベースの EC2 インスタンス
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	はい
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、VMware Cloudワークロード設定をモデル化 AWS して VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	はい
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	• 専用ホスト • Dedicated Instances
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	いいえ

カテゴリ	製品機能
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択するか、使用率のしきい値を微調整する機能 (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択するなど) は、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映します。	はい
ライセンス分析 既存のライセンスと からライセンスを購入するコストの比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	• BYOL オプションやライセンス込みオプションなど、EC2 AWS ライセンスオプションを提供する • ライセンス可能な CPU コア数を減らしてサーバーライセンスコストを最適化する • データベース統合コストを分析する
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• サーバーとストレージのコスト • ソフトウェア、ライセンス、サポートのコスト • 施設とメンテナンスのコスト (ラック、インフラストラクチャ、電力、不動産)
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• EC2 とリザーブドインスタンスのコスト • ストレージコスト • データベースコスト • VMware Cloud on の AWS コスト • ライセンスコスト
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	利用できません

カテゴリ	製品機能
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	いいえ

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] つの Amazon EC2 の特性

Turbonomic

最終更新日: 2023 年 5 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	IBM Turbonomic

カテゴリ	製品機能
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	• AWS 移行とモダナイゼーション – ビジネスケース分析 • AWS クラウド管理ツールのコンピテンシー • AWSMicrosoft ワークロードのコンピテンシー • AWS クラウド移行のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Turbonomic の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	利用できません
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サブスクリプション

ビジネスケース分析機能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする 検出ツール (CMDB抽出、VCenter抽出、、などHyper-V) SolarWindsまたはソフトウェア配布ツール (などMicrosoft SCCM) から IT アセットデータをアップロードする機能	• 手動 • API を介したプログラムによる
適切なサイズ設定、Amazon EC2 インスタンスタイプ ソースサーバープロファイル [1] と使用率データ Amazon EC2[2] 特性 [4] に基づいて、コストが最も低い Amazon EC2 インスタンスタイプを選択する機能	• ソースサーバーまたは VM とターゲット EC2 インスタンス間の vCPU および CPU コア数マッピングと RAM マッピング • 最大 (ピーク) 、平均 (または中央値) 、標準偏差、パーセンタイル統計を含む CPU と RAM の経時的な使用率データ • 世代あたりの CPU 速度 (GHz) • アプリケーションまたはユーザープロセスの CPU 使用率 • プロセッサベンチマークに対する合成ワークロードテスト • 対称マルチプロセッシング (SMP) アプリケーション用の Intel x86 ハイパースレッディングテクノロジー
リソースタイプの除外 バースト T3 などの Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) インスタンスタイプを TCO 計算から除外する機能	はい
VMware Cloud on AWS 分析 ストレージに Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) を使用するなど、VMware Cloudワークロード設定をモデル化	利用できません

カテゴリ	製品機能
AWS して VMware Cloud on のコストを分析する機能Amazon S3	
適切なサイズ設定、テナンシー Dedicated Hosts または Dedicated Instances を使用して Amazon EC2 テナンシー全体で最適化されたレコメンデーションを行う機能	利用できません
適切なサイズ設定、アタッチされたストレージ SSD や HDD などの適切なタイプで、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) などのアタッチされたストレージを適切なサイズにするために、ソースストレージプロファイルデータ、使用率データ、アプリケーション特性、 AWS ストレージ特性を使用する機能	はい
リソース容量の割り当ての選択 リソース容量割り当てスキーム (リソース使用率の低い予約や高い予約など) を選択するか、使用率のしきい値を微調整する機能 (統計的に低いオプションの 90 パーセンタイルや 95 パーセンタイルを選択するなど) は、保守的または楽観的なリソース割り当てプランを反映します。	はい
ライセンス分析 既存のライセンスと からライセンスを購入するコストの比較 AWS により、 でデフォルトのライセンスマッピングとオプションを提供する機能 AWS	BYOL オプションやライセンス込みオプションなど、EC2 AWS ライセンスオプションを提供する

カテゴリ	製品機能
オンプレミスの TCO カバレッジ それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• サーバーとストレージのコスト • ソフトウェア、ライセンス、サポートのコスト
TCO カバレッジ、 AWS それぞれ 1 年と 3 年間のコスト見積もり	• EC2 とリザーブドインスタンスのコスト • ストレージコスト • ライセンスコスト
TCO カバレッジ、移行 コスト見積もり	利用できません
TCO データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、TCO 分析データをオンプレミスまたは指定された場所に保存する機能	はい

[1] リソースプロファイル – CPU ファミリー (x86、RISC/PowerPC、...)、CPU コア数、メモリサイズ、ディスク数、ストレージサイズ、IOPS、ネットワークインターフェイス、帯域幅

[2] リソース使用率 – ピーク、平均または中央値、標準偏差、IOPS、スループット、サンプリング間隔が 5 分のパーセンタイル、最小サンプリング期間が 1 か月の時系列使用率データ

[3] アプリケーション特性 – CPU インテンス、CPU バースト、メモリインテンス、ストレージ I/O バインド、またはネットワークバインド

[4] Amazon EC2 の特性

アプリケーションモビリティ移行ツール

アプリケーションから への移行は、アプリケーションモビリティ専用に設計された AWS および AWS パートナーツールを使用して合理化 AWS クラウド できます。アプリケーションモビリティツールは、ホストサーバー、設定、ストレージ、ネットワーク状態、アプリケーション言語、フレームワークに関するリソース情報をキャプチャします。その後、移行とモダナイゼーションのアプローチに基づいて、アプリケーションコードをプロビジョニング、設定、リホスト、リファクタリング、および自動的に変換できます。

一部のツールは、さまざまなアプリケーションにlift-and-shift機能を自動化し、その他のツールは、自動依存関係マッピング、ワークロードレプリケーション、カットオーバーオーケストレーションなど、複雑なアプリケーション移行に特化された機能を提供します。

このセクションは、状況に最適なツールを選択するのに役立つことを目的としています。特定の機能や機能がユースケースにとって重要な場合は、アプリケーションモビリティ移行ツールで使用できるフィルターカテゴリと属性を使用して、条件に一致するツールのみを表示できます。

このセクションでは、以下のアプリケーションモビリティツールとその機能について説明します。

- AWS Application Migration Service
- CloudHedge OmniDeq アプリケーションモダナイゼーションプラットフォーム
- Deloitte ATAsphere Suite
- Matilda Cloud
- RiverMeadow
- Stromasys Charon エミュレータファミリー

AWS Application Migration Service

最終更新日: 2024 年 6 月 3 日

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	AWS Application Migration Service

カテゴリ	製品機能
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC)
コンプライアンス	• Federal Risk and Authorization Management Program (FedRAMP) • 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サービスに料金はかかりません。リソース料金が適用されます。

アプリケーションモビリティ機能

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーション方法をサポートする機能。	• エージェントレス • エージェントベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	
サポートされているソース 製品がアプリケーションを移行できるホスティング環境	• Google Cloud Platform • Hyper-V • Microsoft Azure • 物理サーバー • VMware
アプリケーションデータ収集 .NET レガシーから.NETコアへのコード、monolith-to-microservicesへのコード変換、server-to-container変換など、アプリケーションの変換をサポートするデータを収集する機能	利用できません
サポートされるオペレーティングシステム 製品が移行できるオペレーティングシステム	• Linux • Windows
サポートされているターゲット 製品が移行できるリソース	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)

カテゴリ	製品機能
ソースコードリポジトリの統合 アプリケーション変換をサポートするために製品が分析できるリポジトリ	利用できません
デプロイ統合 製品が と統合してデプロイをサポートするサービス	利用できません
Infrastructure as Code テンプレート アプリケーションデプロイをサポートするために製品が生成できるテンプレート	利用できません
通知 製品が進行状況や問題を通知するために使用できる方法	• ログ • メトリクス
レプリケーションオプション、連続非同期レプリケーション	使用可能
レプリケーションオプション、帯域幅の消費 スロットリングストリームや並列レプリケーションストリームを使用するなど、帯域幅の消費を管理する機能	利用できません
レプリケーションオプション、ストレージタイプ パフォーマンスとコストを管理するために、一時レプリケーションディスクボリュームとターゲットレプリケーションディスクボリュームの両方のストレージタイプを選択する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
レプリケーションオプション、進行状況の報告 成功、停止、または失敗の状態を含むレプリケーションの進行状況を報告し、それらの状態のイベントまたはアラートを送信する機能	使用可能
変換オプション、プログラミング言語 アプリケーションコードを他の言語に変換する機能	利用できません
変換オプション、 AWS ネイティブサービス アプリケーションを AWS クラウド ネイティブサービスに変換してデプロイする機能	利用できません
変換オプション、 AWS マネージドコンテナサービス AWS マネージドコンテナサービスにデプロイするためにアプリケーションを変換する機能	利用できません
変換オプション、 AWS サーバーレスサービス AWS Lambda および Amazon API Gateway に基づいてアプリケーションをサーバーレスアーキテクチャに変換する機能	利用できません
変換オプション、ライセンス ライセンスメカニズムを変換する機能。たとえば、BYOL ライセンスを AWS ライセンス込みオプションに置き換える	使用可能

カテゴリ	製品機能
データをインポートする CSV、JSON、YAML、API などの一般的な形式で他のテレメトリソースやアプリケーションからデータをインポートする機能	使用可能
データエクスポート 検出されたデータを CSV、JSON、YAML、API などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、オンプレミスまたは指定された場所にデータを保存する機能	はい

CloudHedge OmniDeq アプリケーションモダナイゼーションプラットフォーム

最終更新日: 2024 年 6 月 3 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	CloudHedge
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	CloudHedge 上の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	利用できません
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。

カテゴリ	製品機能
	• マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

アプリケーションモビリティ機能

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーションメソッドをサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	• エージェントレス • ログインベース
サポートされているソース 製品がアプリケーションを移行できるホスティング環境	• Docker および Kubernetesベースを含むコンテナプラットフォーム • Google Cloud Platform • Hyper-V • Microsoft Azure • 物理サーバー • VMware

カテゴリ	製品機能
アプリケーションデータ収集 .NET レガシーから.NETコアへのコード、monolith-to-microservicesへのコード変換、server-to-container変換など、アプリケーションの変換をサポートするデータを収集する機能	• プログラム言語 • ソフトウェアバージョン • 環境
サポートされるオペレーティングシステム 製品が移行できるオペレーティングシステム	• IBM AIX • HP-UX • Linux • Solaris • Windows
サポートされているターゲット 製品が移行できるリソース	• Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) • AWS Lambda • Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) または Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) • セキュリティグループを含むその他の環境設定
ソースコードリポジトリの統合 アプリケーション変換をサポートするために製品が分析できるリポジトリ	• AWS CodeCommit • Bitbucket • GitHub • GitLab • Microsoft Azure Repos
デプロイ統合 製品が と統合してデプロイをサポートするサービス	Jenkins

カテゴリ	製品機能
コードテンプレートとしてのインフラストラクチャ アプリケーションデプロイをサポートするために製品が生成できるテンプレート	• Ansible • HashiCorp Terraform • PowerShell スクリプト
通知 製品が進行状況や問題を通知するために使用できる方法	• E メール • ログ
レプリケーションオプション、連続非同期レプリケーション	使用可能
レプリケーションオプション、帯域幅の消費 スロットリングストリームや並列レプリケーションストリームを使用するなど、帯域幅の消費を管理する機能	使用可能
レプリケーションオプション、ストレージタイプ パフォーマンスとコストを管理するために、一時レプリケーションディスクボリュームとターゲットレプリケーションディスクボリュームの両方のストレージタイプを選択する機能	使用可能
レプリケーションオプション、進行状況の報告 成功、停止、または失敗の状態を含むレプリケーションの進行状況を報告し、それらの状態のイベントまたはアラートを送信する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
変換オプション、プログラミング言語 アプリケーションコードを他の言語に変換する機能	.NET Framework 6 .NET Coreおよび .NET Core8 への.NETレガシー
変換オプション、 AWS ネイティブサービス アプリケーションを AWS クラウド ネイティブサービスに変換してデプロイする機能	使用可能
変換オプション、 AWS マネージドコンテナサービス アプリケーションをデプロイ用に AWS マネージドコンテナサービスに変換する機能	使用可能
変換オプション、 AWS サーバーレスサービス AWS Lambda および Amazon API Gateway に基づいてアプリケーションをサーバーレスアーキテクチャに変換する機能	利用できません
変換オプション、ライセンス ライセンスメカニズムを変換する機能。たとえば、BYOL ライセンスを AWS ライセンス込みオプションに置き換える	利用できません
データをインポートする CSV、JSON、YAML、API などの一般的な形式で他のテレメトリソースやアプリケーションからデータをインポートする機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
データエクスポート 検出されたデータを CSV、JSON、YAML、API などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、オンプレミスまたは指定された場所にデータを保存する機能	はい

Deloitte ATAsphere Suite

最終更新日: 2024 年 6 月 3 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Deloitte ATADATA
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Deloitte ATADATA の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 一般データ保護規則 (GDPR) • Health Insurance Portability and Accountability Act (HIPAA) • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

アプリケーションモビリティ機能

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーションメソッドをサポートする機能。	エージェントレス

カテゴリ	製品機能
• エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	
サポートされているソース 製品がアプリケーションを移行できるホスティング環境	• Docker および Kubernetesベースを含むコンテナプラットフォーム • Google Cloud Platform • Hyper-V • Microsoft Azure • 物理サーバー • VMware
アプリケーションデータ収集 .NET レガシーから.NETコアへのコード、monolith-to-microservicesへのコード変換、server-to-container変換など、アプリケーションの変換をサポートするデータを収集する機能	• アプリケーション環境 • パフォーマンスデータ • ソフトウェアバージョン
サポートされるオペレーティングシステム 製品が移行できるオペレーティングシステム	• IBM AIX • HP-UX • Linux • Solaris • Windows

カテゴリ	製品機能
サポートされているターゲット 製品が移行できるリソース	• Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) • Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) または Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS)
ソースコードリポジトリの統合 アプリケーション変換をサポートするために製品が分析できるリポジトリ	利用できません
デプロイ統合 製品が と統合してデプロイをサポートするサービス	利用できません
Infrastructure as Code テンプレート アプリケーションデプロイをサポートするために製品が生成できるテンプレート	利用できません
通知 製品が進行状況や問題を通知するために使用できる方法	• ログ • メトリクス
レプリケーションオプション、連続非同期レプリケーション	使用可能
レプリケーションオプション、帯域幅の消費 スロットリングストリームや並列レプリケーションストリームを使用するなど、帯域幅の消費を管理する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
レプリケーションオプション、ストレージタイプ パフォーマンスとコストを管理するために、一時レプリケーションディスクボリュームとターゲットレプリケーションディスクボリュームの両方のストレージタイプを選択する機能	使用可能
レプリケーションオプション、進行状況の報告 成功、停止、または失敗の状態を含むレプリケーションの進行状況を報告し、それらの状態のイベントまたはアラートを送信する機能	使用可能
変換オプション、プログラミング言語 アプリケーションコードを他の言語に変換する機能	利用できません
変換オプション、 AWS ネイティブサービス アプリケーションを AWS クラウド ネイティブサービスに変換してデプロイする機能	利用できません
変換オプション、 AWS マネージドコンテナサービス AWS マネージドコンテナサービスにデプロイするためにアプリケーションを変換する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
変換オプション、 AWS サーバーレスサービス AWS Lambda および Amazon API Gateway に基づいてアプリケーションをサーバーレスアーキテクチャに変換する機能	利用できません
変換オプション、ライセンス ライセンスメカニズムを変換する機能。たとえば、BYOL ライセンスを AWS ライセンス込みオプションに置き換える	利用できません
データをインポートする CSV、JSON、YAML、API などの一般的な形式で他のテレメトリソースやアプリケーションからデータをインポートする機能	使用可能
データエクスポート 検出されたデータを CSV、JSON、YAML、API などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、オンプレミスまたは指定された場所にデータを保存する機能	はい

Matilda Cloud

最終更新日: 2024 年 6 月 3 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Matilda Cloud
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	利用できません
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	利用できません

カテゴリ	製品機能
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

アプリケーションモビリティ機能

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーション方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • ログインベース

カテゴリ	製品機能
サポートされているソース 製品がアプリケーションを移行できるホスティング環境	• Docker および Kubernetesベースを含むコンテナプラットフォーム • Google Cloud Platform • Hyper-V • Microsoft Azure • 物理サーバー • VMware
アプリケーションデータ収集 .NET レガシーから.NETコアへのコード、monolith-to-microservicesへのコード変換、server-to-container変換など、アプリケーションの変換をサポートするデータを収集する機能	• プログラム言語 • ソフトウェアバージョン • 環境
サポートされるオペレーティングシステム 製品が移行できるオペレーティングシステム	• IBM AIX • HP-UX • Linux • Solaris • Windows
サポートされているターゲット 製品が移行できるリソース	• Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) • AWS Lambda • Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) または Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) • セキュリティグループを含むその他の環境設定

カテゴリ	製品機能
ソースコードリポジトリの統合 アプリケーション変換をサポートするために製品が分析できるリポジトリ	• AWS CodeCommit • Bitbucket • GitHub • GitLab • Microsoft Azure Repos
デプロイ統合 製品が と統合してデプロイをサポートするサービス	Jenkins
Infrastructure as Code テンプレート アプリケーションデプロイをサポートするために製品が生成できるテンプレート	• Ansible • HashiCorp Terraform • PowerShell スクリプト
通知 製品が進行状況や問題を通知するために使用できる方法	• E メール • ログ
レプリケーションオプション、連続非同期レプリケーション	使用可能
レプリケーションオプション、帯域幅の消費 スロットリングストリームや並列レプリケーションストリームを使用するなど、帯域幅の消費を管理する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
レプリケーションオプション、ストレージタイプ パフォーマンスとコストを管理するために、一時レプリケーションディスクボリュームとターゲットレプリケーションディスクボリュームの両方のストレージタイプを選択する機能	使用可能
レプリケーションオプション、進行状況の報告 成功、停止、または失敗の状態を含むレプリケーションの進行状況を報告し、それらの状態のイベントまたはアラートを送信する機能	使用可能
変換オプション、プログラミング言語 アプリケーションコードを他の言語に変換する機能	.NET Framework 6 .NET Coreおよび .NET Core8 への.NETレガシー
変換オプション、 AWS ネイティブサービス アプリケーションを AWS クラウド ネイティブサービスに変換してデプロイする機能	使用可能
変換オプション、 AWS マネージドコンテナサービス AWS マネージドコンテナサービスにデプロイするためにアプリケーションを変換する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
変換オプション、 AWS サーバーレスサービス AWS Lambda および Amazon API Gateway に基づいてアプリケーションをサーバーレスアーキテクチャに変換する機能	利用できません
変換オプション、ライセンス ライセンスメカニズムを変換する機能。たとえば、BYOL ライセンスを AWS ライセンス込みオプションに置き換える	利用できません
データをインポートする CSV、JSON、YAML、API などの一般的な形式で他のテレメトリソースやアプリケーションからデータをインポートする機能	使用可能
データエクスポート 検出されたデータを CSV、JSON、YAML、API などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、オンプレミスまたは指定された場所にデータを保存する機能	はい

RiverMeadow

最終更新日: 2024 年 6 月 3 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	RiverMeadow
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	利用できません
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサ

カテゴリ	製品機能
	ポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

アプリケーションモビリティ機能

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーション方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	• エージェントレス • エージェントベース
サポートされているソース 製品がアプリケーションを移行できるホスティング環境	• Google Cloud Platform • Hyper-V • Microsoft Azure • 物理サーバー • VMware

カテゴリ	製品機能
	• その他 – Oracle Cloud Infrastructure (OCI)、IBM Cloud、Alibaba、Red Hat Virtualization (RHV)、Kernel-based Virtual Machine (KVM)Nutanix AHV、、 Microsoft Azure Stack HCI
アプリケーションデータ収集 .NET レガシーから.NETコアへのコード、monolith-to-microservicesへのコード変換、server-to-container変換など、アプリケーションの変換をサポートするデータを収集する機能	• ソフトウェアバージョン • ソフトウェアの脆弱性
サポートされるオペレーティングシステム 製品が移行できるオペレーティングシステム	• Linux • Windows
サポートされているターゲット 製品が移行できるリソース	• Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) • Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS)、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
ソースコードリポジトリの統合 アプリケーション変換をサポートするために製品が分析できるリポジトリ	GitHub
デプロイ統合 製品が と統合してデプロイをサポートするサービス	Jenkins

カテゴリ	製品機能
Infrastructure as Code テンプレート アプリケーションデプロイをサポートするために製品が生成できるテンプレート	AWS CloudFormation
通知 製品が進行状況や問題を通知するために使用できる方法	• E メール • ログ
レプリケーションオプション、連続非同期レプリケーション	使用可能
レプリケーションオプション、帯域幅の消費 スロットリングストリームや並列レプリケーションストリームを使用するなど、帯域幅の消費を管理する機能	使用可能
レプリケーションオプション、ストレージタイプ パフォーマンスとコストを管理するために、一時レプリケーションディスクボリュームとターゲットレプリケーションディスクボリュームの両方のストレージタイプを選択する機能	使用可能
レプリケーションオプション、進行状況の報告 成功、停止、または失敗の状態を含むレプリケーションの進行状況を報告し、それらの状態のイベントまたはアラートを送信する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
変換オプション、プログラミング言語 アプリケーションコードを他の言語に変換する機能	利用できません
変換オプション、 AWS ネイティブサービス アプリケーションを AWS クラウド ネイティブサービスに変換してデプロイする機能	利用できません
変換オプション、 AWS マネージドコンテナサービス アプリケーションをデプロイ用に AWS マネージドコンテナサービスに変換する機能	利用できません
変換オプション、 AWS サーバーレスサービス AWS Lambda および Amazon API Gateway に基づいてアプリケーションをサーバーレスアーキテクチャに変換する機能	利用できません
変換オプション、ライセンス ライセンスメカニズムを変換する機能。たとえば、BYOL ライセンスを AWS ライセンス込みオプションに置き換える	使用可能
データをインポートする CSV、JSON、YAML、API などの一般的な形式で他のテレメトリソースやアプリケーションからデータをインポートする機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
データエクスポート 検出されたデータを CSV、JSON、YAML、API などの使用可能な形式にエクスポートする機能	使用可能
データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、オンプレミスまたは指定された場所にデータを保存する機能	はい

Stromasys Charon エミュレータファミリー

最終更新日: 2024 年 6 月 3 日

> **注意**
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Stromasys Charon
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	での SPARC の仮想化 AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	一般データ保護規則 (GDPR)
サービスモデル	• ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

アプリケーションモビリティ機能

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーションメソッドをサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。	ログインベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	
サポートされているソース 製品がアプリケーションを移行できるホスティング環境	Sun SPARC、、HP PA-RISC、DEC Alpha、VAXおよび PDP-11ハードウェアを備えた物理サーバー
アプリケーションデータ収集 .NET レガシーから.NETコアへのコード、monolith-to-microservicesへのコード変換、server-to-container変換など、アプリケーションの変換をサポートするデータを収集する機能	利用できません
サポートされるオペレーティングシステム 製品が移行できるオペレーティングシステム	• HP-UX • Solaris • その他 – OpenVMS、Tru64 UNIX、 MPE
サポートされているターゲット 製品が移行できるリソース	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
ソースコードリポジトリの統合 アプリケーション変換をサポートするために製品が分析できるリポジトリ	利用できません

カテゴリ	製品機能
デプロイ統合 製品が と統合してデプロイをサポートするサービス	Jenkins
コードテンプレートとしてのインフラストラクチャ アプリケーションデプロイをサポートするために製品が生成できるテンプレート	利用できません
通知 製品が進行状況や問題を通知するために使用できる方法	• E メール • ログ
レプリケーションオプション、連続非同期レプリケーション	利用できません
レプリケーションオプション、帯域幅の消費 スロットリングストリームや並列レプリケーションストリームを使用するなど、帯域幅の消費を管理する機能	利用できません
レプリケーションオプション、ストレージタイプ パフォーマンスとコストを管理するために、一時レプリケーションディスクボリュームとターゲットレプリケーションディスクボリュームの両方のストレージタイプを選択する機能	利用できません

カテゴリ	製品機能
レプリケーションオプション、進行状況の報告 成功、停止、または失敗の状態を含むレプリケーションの進行状況を報告し、それらの状態のイベントまたはアラートを送信する機能	使用可能
変換オプション、プログラミング言語 アプリケーションコードを他の言語に変換する機能	バイナリコードを Sun SPARC、HP PA-RISC、DEC Alpha、VAX、 から PDP-11 x86 バイナリコードに変換します
変換オプション、 AWS ネイティブサービス アプリケーションを AWS クラウド ネイティブサービスに変換してデプロイする機能	利用できません
変換オプション、 AWS マネージドコンテナサービス アプリケーションをデプロイ用に AWS マネージドコンテナサービスに変換する機能	利用できません
変換オプション、 AWS サーバーレスサービス AWS Lambda および Amazon API Gateway に基づいてアプリケーションをサーバーレスアーキテクチャに変換する機能	利用できません
変換オプション、ライセンス ライセンスメカニズムを変換する機能。たとえば、BYOL ライセンスを AWS ライセンス込みオプションに置き換える	利用できません

カテゴリ	製品機能
データをインポートする CSV、JSON、YAML、API などの一般的な形式で他のテレメトリソースやアプリケーションからデータをインポートする機能	利用できません
データエクスポート 検出されたデータを CSV、JSON、YAML、API などの使用可能な形式にエクスポートする機能	利用できません
データ主権のサポート データ保護ポリシーまたは政府のデータ主権規制に基づいて、オンプレミスまたは指定された場所にデータを保存する機能	はい

データモビリティ移行ツール

データモビリティツールは、大量のデータとデータベースを効率的かつ安全に AWS クラウド に移動するのに役立ちます。これらのツールの機能には、自動データ検証、圧縮、重複排除、帯域幅最適化などがあります。これらのツールは、さまざまなネットワーク制約、データボリューム、セキュリティ要件に合わせて設計されています。

このセクションは、状況に最適なツールを選択するのに役立つことを目的としています。特定の機能や機能がユースケースにとって重要な場合は、データモビリティ移行ツールで使用できるフィルターカテゴリと属性を使用して、条件に一致するツールのみを表示できます。

このセクションでは、以下のデータモビリティツールとその機能について説明します。

- Cirata Data Migrator
- Komprise Elastic Data Migration
- Tessell DBaaS
- Vcinity Ultimate X

Cirata Data Migrator

最終更新日: 2024 年 11 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Cirata Data Migrator

カテゴリ	製品機能
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの Cirata Data Migrator
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	一般データ保護規則 (GDPR)
サービスモデル	• 完全なセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。 • マネージドサービス (パートナー対応サービスを含む) – デプロイ、管理、メンテナンスにはプロフェッショナルサービスが必要です
料金モデル	サブスクリプション

データ移行

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーション方法をサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	エージェントベース
レプリケーションソース 次の 1 つ以上のソースのサポート： • ブロック • ファイル • オブジェクト • テープ • その他	• ファイル • オブジェクト
Automation スケジューリングコントロールを使用して移行を管理する機能： • 製品にはプログラムでアクセス、設定、管理できる • 製品は移行ジョブをスケジュールできます	• プログラムによる へのアクセス • 移行をスケジュールする • 移行の一時停止と再開 • 帯域幅スロットリングをスケジュールする

カテゴリ	製品機能
• 製品が移行を一時停止および再開できる • 製品は帯域幅スロットリングをスケジュールできます (オフピーク期間中にスループットを向上させるためなど)	
パフォーマンス パフォーマンスを最適化する機能： • スロットリングなどによる帯域幅消費の管理 • 転送前にデータを圧縮してネットワークトラフィックを減らす • データ移行タスクのマルチスレッドまたは同時プロセスを実行する	• マネージド帯域幅の消費量 • マルチスレッドまたは同時プロセスのサポート
セキュリティ 製品とデータ転送を保護する機能： • 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • お客様が用意した暗号化キーの使用をサポート • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する	• 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する

カテゴリ	製品機能
同期タイプ 複数のデータ同期オプションをサポートする機能： • 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送	• 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送
ファイル転送オプション ファイル移行オプションをサポートする機能： • 以前にコピーされたすべてのファイルを追跡し、次のコピーのソースデータと比較します。 • ファイル全体ではなく、ファイルの変更された部分のみをコピーする • シンプルまたは正規表現パターンを持つファイルやフォルダをコピーするためのパターンを含めるか除外するかのサポート	• 変更されたファイルの追跡 • パターンを含めるまたは除外する
NFS および SMB オプション ネットワークファイルシステム (NFS) およびサーバーメッセージブロック (SMB) ファイルシステムの場合、次のことを実行できます。 • シンボリックリンクを保持する • ハードリンクを保持する • 開いているファイルを移動する	• シンボリックリンクを保持する • 開いているファイルを移動する

カテゴリ	製品機能
データ検証 データの整合性のチェックサムを使用してデータ転送を検証する機能	利用できません
発見 ソースシステムデータ (ファイル名、タイプ、サイズ、使用状況、ファイルのタイムスタンプ、サマリー統計など) をスキャンしてレポートし、移行前評価レポートを生成する機能	利用できません
レポートとアラート データ転送の進行状況と統計をレポートする機能： • ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート	• ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート
障害処理 ネットワーク障害または接続の問題が発生した場合に転送オペレーションを再試行する機能	使用可能

データベースの移行

カテゴリ	製品機能
移行アプローチ • 同種 — ソースエンジンとターゲットエンジンが同じである • 異種 — ソースエンジンとターゲットエンジンが異なる • ソースデータベースエンジンメタデータをターゲットデータベースエンジンと互換性を持たせる機能 • LOB やバイナリデータ型などの大規模なデータベースオブジェクトを移行するツールの機能	• 同種 • 異種 • スキーマ変換 • LOB データ型のサポート
Source engine IBM Db2 LUW、、、、、PostgreSQL、などMariaDBMicrosoft SQL ServerMySQLOracle、特定のデータベースエンジンを移行する機能	• Apache Hive • Apache Iceberg • Databricks • Snowflake
移行タイプ • 全ロードのみ — ソースからターゲットへの 1 回限りの移行を実行します • CDC による全ロード — 変更データキャプチャ (CDC) による全ロードを実行して、ソースからターゲットへのレプリケーションを続行します。 • CDC のみ – 1 回限りの移行は実行しませんが、ソースからターゲットにデータ変更をレプリケートし続けます。	CDC による全ロード

カテゴリ	製品機能
• オフライン – オフラインメソッドまたは外部ストレージデバイスを使用して大規模なデータセットを移行する	
データ変換 移行中にデータを変換する機能	メタデータのみ、Apache Hive互換性のある形式をDelta Lake形式とSnowflake形式に変換します
移行範囲 メタデータとアプリケーションデータを移行する機能： • メタデータ – テーブル、ビュー、ストアドプロシージャ定義などのデータベーススキーマ構造を移行する • テーブルデータ – テーブルデータの移行	• メタデータ • テーブルデータ
ツールアーキテクチャ、高可用性 この機能により、次の高可用性 (HA) 設定の 1 つ以上がサポートされます。 • 組み込み HA 設定 • 手動 HA 設定	手動 HA 設定
ツールのサイズ設定 移行負荷に合わせて自身をサイズ設定する機能： • 検出中のインテリジェントサイジング • データベースサイズや変更ログなどのソースデータベースパラメータに基づく手動サイズ設定	手動サイズ設定

カテゴリ	製品機能
データ型サポート 標準データ型とカスタムデータ型を移行する機能	規格
移行前評価 移行タスクを開始する前に、潜在的な移行問題を評価して警告する機能	使用可能
データ検証 フルデータロードの実行直後にソースとターゲットのデータを比較する機能	すべてのテーブルで使用可能
モニタリングとログ記録 移行タスクをログに記録してモニタリングし、ツールのパフォーマンスをモニタリングする機能	• タスクログ記録 • タスクのモニタリングとアラート • パフォーマンスモニタリング
セキュリティ ソースからターゲットへのデータ暗号化 (存在する場合) を保持する機能	使用可能
データ選択 データのサブセットを移行する機能	使用可能
移行並列処理 データの複数のサブセットを並行して移行する機能	使用可能。メタデータの移行は、テーブルとデータベースのパターンに基づいて定義されます。メタデータがパターンと一致する場合、設定されたスレッド数とシステム制限に基づいて並行して移行されます。

Komprise Elastic Data Migration

最終更新日: 2024 年 11 月 15 日

> **注意**
>
> AWS パートナー製品の説明とコンプライアンスを含む報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Komprise Elastic Data Migration
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Komprise でのインテリジェントデータ管理 AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • での SaaS AWS （ベンダー VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー

カテゴリ	製品機能
コンプライアンス	システムと組織のコントロール 2 (SOC 2)
サービスモデル	ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サブスクリプション

データ移行

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーションメソッドをサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します • エージェントベース – LinuxやWindows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします。	エージェントベース
レプリケーションソース 次の 1 つ以上のソースのサポート： • ブロック • ファイル	• ファイル • オブジェクト

カテゴリ	製品機能
• オブジェクト • テープ • その他	• その他 – NFS、SMB、オブジェクトインターフェイス (ファイルのフロントエンドを含むテープ)
Automation スケジューリングコントロールを使用して移行を管理する機能： • 製品にはプログラムでアクセス、設定、管理できる • 製品は移行ジョブをスケジュールできます • 製品が移行を一時停止および再開できる • 製品は帯域幅スロットリングをスケジュールできます (オフピーク期間中にスループットを向上させるためなど)	• プログラムによる へのアクセス • 移行をスケジュールする • 移行の一時停止と再開 • 帯域幅スロットリングをスケジュールする
パフォーマンス パフォーマンスを最適化する機能： • スロットリングなどによる帯域幅消費の管理 • 転送前にデータを圧縮してネットワークトラフィックを減らす • データ移行タスクのマルチスレッドまたは同時プロセスを実行する	• マネージド帯域幅の消費量 • マルチスレッドまたは同時プロセスのサポート

カテゴリ	製品機能
セキュリティ 製品とデータ転送を保護する機能： • 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • お客様が用意した暗号化キーの使用をサポート • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する	• 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する
同期タイプ 複数のデータ同期オプションをサポートする機能： • 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送	• 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送
ファイル転送オプション ファイル移行オプションをサポートする機能： • 前にコピーしたすべてのファイルを追跡し、次のコピーのソースデータと比較します。 • ファイル全体ではなく、ファイルの変更された部分のみをコピーする • シンプルまたは正規表現パターンを持つファイルやフォルダをコピーするためのパターンを含めるか除外するかのサポート	• 変更されたファイルの追跡 • パターンを含めるまたは除外する

カテゴリ	製品機能
NFS および SMB オプション ネットワークファイルシステム (NFS) およびサーバーメッセージブロック (SMB) ファイルシステムの場合、次のことを実行できます。 • シンボリックリンクを保持する • ハードリンクを保持する • 開いているファイルを移動する	• シンボリックリンクを保持する • ハードリンクを保持する
データ検証 データ整合性のチェックサムを使用してデータ転送を検証する機能	使用可能
発見 ソースシステムデータ (ファイル名、タイプ、サイズ、使用状況、ファイルのタイムスタンプ、サマリー統計など) をスキャンしてレポートし、移行前評価レポートを生成する機能	使用可能
レポートとアラート データ転送の進行状況と統計をレポートする機能： • ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート	• ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート

カテゴリ	製品機能
障害処理 ネットワーク障害または接続の問題が発生した場合に転送オペレーションを再試行する機能	使用可能

データベースの移行

利用できません

Tessell DBaaS

最終更新日: 2024 年 11 月 15 日

> **注意**
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Tessell
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー

カテゴリ	製品機能
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	Tessell DBaaS の AWS Marketplace
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• での SaaS AWS （ ベンダー VPC) • にデプロイされたサーバー AWS （ 顧客 VPC) • SaaS SaaS または他のクラウドプロバイダー環境のサーバー
コンプライアンス	• 国際標準化機構 (ISO) 27001 および 27701 • ペイメントカード業界 (PCI) • System and Organization Controls (SOC)
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サブスクリプション

データ移行

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーションメソッドをサポートする機能。	ログインベース

カテゴリ	製品機能
• エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	
レプリケーションソース 次の 1 つ以上のソースのサポート： • ブロック • ファイル • オブジェクト • テープ • その他	• ブロック • ファイル
Automation スケジューリングコントロールを通じて移行を管理する機能： • 製品にはプログラムでアクセス、設定、管理できる • 製品は移行ジョブをスケジュールできます • 製品が移行を一時停止および再開できる • 製品は帯域幅スロットリングをスケジュールできます (オフピーク期間中のスループットを向上させるためなど)	• プログラムで にアクセスする • 移行をスケジュールする • 移行の一時停止と再開 • 帯域幅スロットリングをスケジュールする

カテゴリ	製品機能
パフォーマンス パフォーマンスを最適化する機能： • スロットリングなどによる帯域幅消費の管理 • 転送前にデータを圧縮してネットワークトラフィックを減らす • データ移行タスクのマルチスレッドまたは同時プロセスを実行する	• マネージド帯域幅の消費 • 転送前の圧縮 • マルチスレッドまたは同時プロセスのサポート
セキュリティ 製品とデータ転送を保護する機能： • 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • お客様が用意した暗号化キーの使用をサポート • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する	• 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • お客様が用意した暗号化キーの使用をサポート • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する
同期タイプ 複数のデータ同期オプションをサポートする機能： • 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送	• 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送

カテゴリ	製品機能
ファイル転送オプション ファイル移行オプションをサポートする機能： • 以前にコピーされたすべてのファイルを追跡し、次のコピーのソースデータと比較します。 • ファイル全体ではなく、ファイルの変更された部分のみをコピーする • シンプルまたは正規表現パターンを持つファイルやフォルダをコピーするためのパターンを含めるか除外するかのサポート	• 変更されたファイルの追跡 • ファイルの変更された部分のみをコピーする
NFS および SMB オプション ネットワークファイルシステム (NFS) およびサーバーメッセージブロック (SMB) ファイルシステムの場合、次のことを実行できます。 • シンボリックリンクを保持する • ハードリンクを保持する • 開いているファイルを移動する	利用できません
データ検証 データの整合性のチェックサムを使用してデータ転送を検証する機能	使用可能

カテゴリ	製品機能
発見 ソースシステムデータ (ファイル名、タイプ、サイズ、使用状況、ファイルのタイムスタンプ、サマリー統計など) をスキャンしてレポートし、移行前評価レポートを生成する機能	使用可能
レポートとアラート データ転送の進行状況と統計をレポートする機能： • ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート	• ファイルとオブジェクトの転送統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート
障害処理 ネットワーク障害または接続の問題が発生した場合に転送オペレーションを再試行する機能	使用可能

データベースの移行

カテゴリ	製品機能
移行アプローチ • 同種 — ソースエンジンとターゲットエンジンが同じである	• 同種 • BLOB、CLOB、NCLOB、BFILE などの LOB データ型のサポート

カテゴリ	製品機能
• 異種 — ソースエンジンとターゲットエンジンが異なる • ソースデータベースエンジンメタデータをターゲットデータベースエンジンと互換性があるように変換する機能 • LOB やバイナリデータ型などの大規模なデータベースオブジェクトを移行するツールの機能	
Source engine IBM Db2 LUW、、、、、PostgreSQL、などMariaDBMicrosoft SQL ServerMySQLOracle、特定のデータベースエンジンを移行する機能	• MariaDB • Microsoft SQL Server • Milvus • MongoDB • MySQL • Oracle • PostgreSQL
移行タイプ • 全ロードのみ — ソースからターゲットへの 1 回限りの移行を実行します • CDC による全ロード — 変更データキャプチャ (CDC) による全ロードを実行して、ソースからターゲットへのレプリケーションを続行します。 • CDC のみ — 1 回限りの移行は実行しませんが、ソースからターゲットにデータ変更をレプリケートし続けます。 • オフライン – オフラインメソッドまたは外部ストレージデバイスを使用して大規模なデータセットを移行する	• CDC による全ロード • オフライン

カテゴリ	製品機能
データ変換 移行中にデータを変換する機能	• メタデータ • テーブルデータ
移行範囲 メタデータとアプリケーションデータを移行する機能： • メタデータ – テーブル、ビュー、ストアドプロシージャ定義などのデータベーススキーマ構造を移行する • テーブルデータ – テーブルデータの移行	• メタデータ • テーブルデータ
ツールアーキテクチャ、高可用性 この機能により、次の高可用性 (HA) 設定の 1 つ以上がサポートされます。 • 組み込み HA 設定 • 手動 HA 設定	組み込み HA 設定
ツールのサイズ設定 移行負荷に合わせて自身をサイズ設定する機能： • 検出中のインテリジェントサイジング • データベースサイズや変更ログなどのソースデータベースパラメータに基づく手動サイズ設定	• インテリジェントなサイジング • 手動サイズ設定
データ型サポート 標準データ型とカスタムデータ型を移行する機能	• 規格 • カスタム

カテゴリ	製品機能
移行前評価 移行タスクを開始する前に、潜在的な移行問題を評価して警告する機能	使用可能
データ検証 フルデータロードの実行直後にソースとターゲットのデータを比較する機能	すべてのテーブルで使用可能
モニタリングとログ記録 移行タスクをログに記録してモニタリングし、ツールのパフォーマンスをモニタリングする機能	• タスクログ記録 • タスクのモニタリングとアラート • パフォーマンスモニタリング
セキュリティ ソースからターゲットへのデータ暗号化 (存在する場合) を保持する機能	使用可能
データ選択 データのサブセットを移行する機能	使用可能
移行並列処理 データの複数のサブセットを並行して移行する機能	使用可能。RMAN バックアップを取ると、複数のレベルの並列処理を実現できます。 バックアップが復元されると、 を介した後続のデータ転送は、トランザクションが実行された順序で連続してOracle DataGuard行われます。転送はこのように行われるため、転送先のデータベースは常に一貫して読み取り可能です。

Vcinity Ultimate X

最終更新日: 2024 年 11 月 15 日

> **注意**
>
> AWS コンプライアンスを含むパートナー製品の説明と報告された資格は、 AWS パートナーによって提供され、 によって検証されません AWS。これらの製品の詳細については、 AWS パートナーにお問い合わせください。リストされている製品のいずれかを使用する前に、独自の追加のデューデリジェンスを実施することをお勧めします。

製品の概要

カテゴリ	製品機能
製品ウェブサイト	Vcinity Ultimate X
製品証明書 AWS コンピテンシープログラムのコンピテンシーとその他の認定	移行とモダナイゼーション ISV のコンピテンシー
AWS Marketplace サブスクライブまたはダウンロードへのリンク	AWS Marketplaceでの Vcinity Ultimate X
ツールデプロイモデル 製品は SaaS ベースでも、お客様がデプロイしてもかまいません。	• にデプロイされたサーバー AWS （顧客 VPC) • お客様の環境でオンプレミスにデプロイされたサーバー
コンプライアンス	利用できません

カテゴリ	製品機能
サービスモデル	• フルセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、お客様またはエンドユーザーが行うことができます。 • ベンダーサポートによるセルフサービス – デプロイ、管理、メンテナンスは、ベンダーサポートのオプションを使用して、顧客またはエンドユーザーが行うことができます。
料金モデル	サブスクリプション

データ移行

カテゴリ	製品機能
レプリケーション方法 次の 1 つ以上のレプリケーションメソッドをサポートする機能。 • エージェントレス – SNMP や WMI などのプロトコルやインターフェイスを使用します。 • エージェントベース – Linuxや Windows サーバーなどのソースリソースにソフトウェアをインストールする必要があります • ログインベース – SSH や RDP などのプロトコルを使用してソースサーバーにログインします	ログインベース
レプリケーションソース 次の 1 つ以上のソースのサポート： • ブロック	• ファイル • オブジェクト

カテゴリ	製品機能
• ファイル • オブジェクト • テープ • その他	
Automation スケジューリングコントロールを通じて移行を管理する機能： • 製品にはプログラムでアクセス、設定、管理できる • 製品は移行ジョブをスケジュールできます • 製品が移行を一時停止および再開できる • 製品は帯域幅スロットリングをスケジュールできます (オフピーク期間中のスループットを向上させるためなど)	プログラムで にアクセスする
パフォーマンス パフォーマンスを最適化する機能： • スロットリングなどによる帯域幅消費の管理 • 転送前にデータを圧縮してネットワークトラフィックを減らす • データ移行タスクのマルチスレッドまたは同時プロセスを実行する	• マネージド帯域幅の消費 • 転送前の圧縮 • マルチスレッドまたは同時プロセスのサポート

カテゴリ	製品機能
セキュリティ 製品とデータ転送を保護する機能： • 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • お客様が用意した暗号化キーの使用をサポート • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する • 認証のためにサードパーティーの ID プロバイダーと統合する	• 送信元から送信先への転送中のデータの暗号化 • お客様が用意した暗号化キーの使用をサポート • ユーザーによってリクエストされ、ツールによって実行されたすべてのアクションを改ざん防止監査ログに保存する
同期タイプ 複数のデータ同期オプションをサポートする機能： • 1 回限りの転送 • 定期的な転送 • 継続的な転送	1 回限りの転送
ファイル転送オプション ファイル移行オプションをサポートする機能： • 前にコピーしたすべてのファイルを追跡し、次のコピーのソースデータと比較します。 • ファイル全体ではなく、ファイルの変更された部分のみをコピーする • シンプルまたは正規表現パターンを持つファイルやフォルダをコピーするためのパターンを含めるか除外するかのサポート	利用できません

カテゴリ	製品機能
NFS および SMB オプション ネットワークファイルシステム (NFS) およびサーバーメッセージブロック (SMB) ファイルシステムの場合、次のことを実行できます。 • シンボリックリンクを保持する • ハードリンクを保持する • 開いているファイルを移動する	利用できません
データ検証 データ整合性のチェックサムを使用してデータ転送を検証する機能	使用可能
発見 ソースシステムデータ (ファイル名、タイプ、サイズ、使用状況、ファイルのタイムスタンプ、サマリー統計など) をスキャンしてレポートし、移行前評価レポートを生成する機能	利用できません
レポートとアラート データ転送の進行状況と統計をレポートする機能： • ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート	• ファイルとオブジェクトの転送統計 • ネットワーク統計 • 所要時間と予測完了を含む時間と期間の統計 • 詳細な移行後レポートの生成 • 移行完了後の完全な検証レポートの生成 • 失敗シナリオ、ジョブ完了に関するアラート

カテゴリ	製品機能
障害処理 ネットワーク障害または接続の問題が発生した場合に転送オペレーションを再試行する機能	使用可能

データベースの移行

利用できません

ドキュメント履歴

以下の表は、本ガイドの重要な変更点について説明したものです。今後の更新に関する通知を受け取る場合は、RSS フィード をサブスクライブできます。

変更	説明	日付
初版発行	ウェブページから包括的なガイド AWS に情報を移行しました。	2025 年 3 月 21 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。